

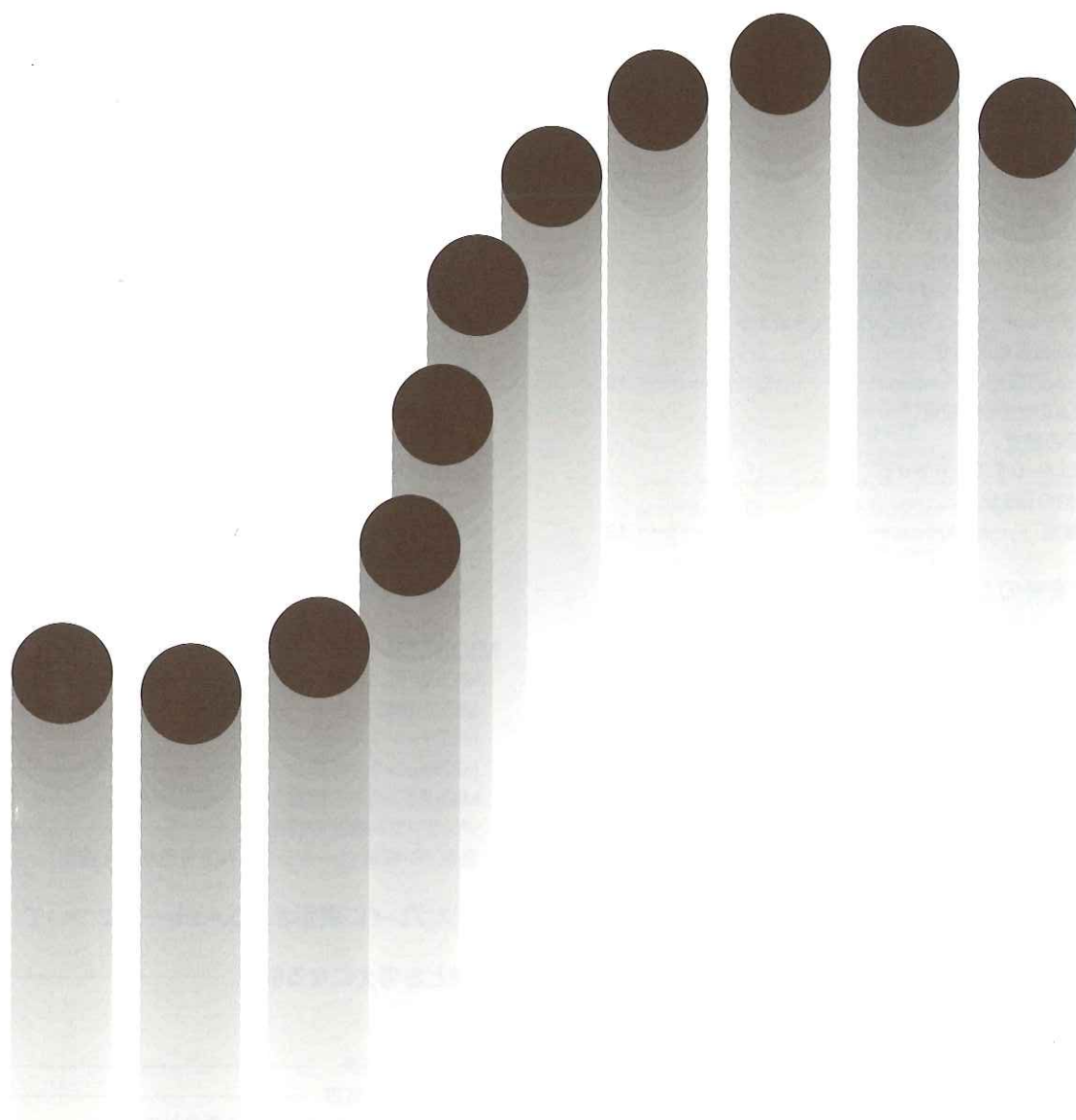
---

スズキ教育用オルガン  
SO-910II

---

取扱説明書

---



 **SUZUKI**

## ◆ 目次 ◆

主な特長	1	ディスクシーケンサーの操作	
仕様	1	各部の名称とはたらき	18
使用上の注意	2	リモコンについて	19
各部の名称とはたらき	4	フロッピーディスクについて	20
演奏するまえに		フロッピーディスクのフォーマット	21
音を出してみよう	6	再生のしかた	22
デモディスクを鳴らしてみよう	7	1.ディスクをディスク挿入口に入れます	
演奏してみよう		2.選曲	
音色の設定	8	3.「再生/停止」スイッチを押します	
1.右鍵盤音色の設定		4.曲の終了	
2.左鍵盤音色の設定		5.一時停止	
リズムの設定	10	6.頭出し	
1.リズムパターンの設定		7.巻戻し(-)・早送り(+)	
2.リズムのはやさの設定		パートスイッチの操作と音量調節	24
3.リズムをスタートさせる		1.パートスイッチの操作	
4.イントロ/エンディングをつける		2.パートナンバーとMIDIチャンネル	
5.タッチテンポを使ってリズムのはやさを変える		3.パート音量	
6.リズムの音量の設定		4.すべての再生音量	
メトロノームの設定	12	繰り返し再生のしかた	26
1.リズムのはやさの設定		1.1曲すべてを繰り返し再生するとき	
2.拍子の設定		2.曲の途中を繰り返し再生するとき(A・Bリピート)	
3.メトロノームをスタートさせる		連続演奏のしかた	28
4.うら拍の音を出す		曲の削除	29
効果の設定	13	録音のしかた	30
よりよい演奏のために		1.曲を最初から録音してみよう	
移調(トランスポーズ)の設定	14	2.曲の途中から録音してみよう(パンチイン録音)	
音のたかさ(チューニング)の設定	14	パート5の録音チャンネルを選ぶ	32
オクターブの設定	15	スプリット時の録音	32
1.右鍵盤音色のオクターブの設定		MIDI INからの録音	33
2.左鍵盤音色のオクターブの設定		ディスク残容量の確認	33
タッチセンスの設定	15	「しあわせなら手をたたこう」を録音しよう	34
マニュアルドラムの設定	16	MIDIについて	
純正調の設定	16	MIDI端子について	38
スプリットの設定	17	MIDIの接続	39
		MIDIチャンネル	40
		MIDIチャンネルの概念	40
		MIDIチャンネルの設定	41
		アンサンブル機能の設定	42
		音色ポン機能(シーケンサー再生音色切換え機能)	43
		ディスプレイに表示されるメッセージについて	44
		故障とお考えになる前に	45
		付録	
		GM音色一覧表	46
		ドラムセット一覧表	48
		SO-910 II カスタムボイス音色番号対応表	50
		MIDI インフォメーション	51
		MIDI インプリメンテーション チャート	59
		保証書	61

## 主な特長

- 音色のクオリティがアップ
- 使いやすい操作パネル
- メトロノーム機能が充実
- シーケンサー機能の充実と便利なリモコン
- 最大出力60W
- 多彩なマニュアルドラムと効果音
- 純正調機能
- とがった部分をなくしました
- キャスター付
- しっかり開き、ゆっくり閉まるフタ

## 仕様

音源	VASE3 最大同時発音数 32音
鍵盤数/音域	61鍵 C~c <sup>4</sup> タッチレスボンス機能付き
音色	パネル20音色 全304音色 右鍵盤 左鍵盤 独立 スプリット機能 リズム61音色(マニュアルドラム)
リズムパターン	11パターン イントロ/エンディング
効果	ビブラート サスティン コーラス
コントロール	すべての音量 リズムの音量 リバーブ音量 外部入力音量(マイク) エクスペディションペダル タッチテンポ マニュアルドラム 純正調 タッチセンス メトロノーム(うら拍)
センターディスプレイ	リズムの速さ(テンポ) 移調(トランスポーズ) オクターブ 音の高さ(チューニング)
シーケンサー部	16トラックシーケンサー 6パートコントロール 繰り返し再生 パンチイン録音 3.5インチフロッピーディスク(2HD・2DD)対応
外部端子	ヘッドホン端子 ステレオ外部出力端子(標準) モノラル外部入力端子(標準) マイク入力端子(標準) サスティンペダル(標準) MIDI IN/OUT
最大出力 スピーカー	60W 30cm×1、10cm×1 モニタースピーカー×1 モノラル
定格電圧 消費電力 寸法 重量 付属品	AC100V 58W 巾951×奥行456×高さ840 50kg 専用椅子 リモコン(単四乾電池2本) デモディスク(1枚) 楽譜 カスタムボイス音色番号対応表シール 取扱説明書
特徴	GM対応16ch マルチティンバー音源 キャスター付き ふた 緩衝装置付き

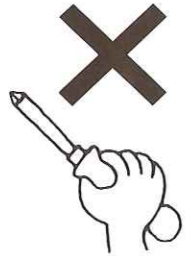


# 使用上の注意

## ⚠ 警告

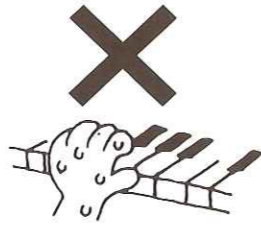
### 改造・分解は危険です

改造や分解はしないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。



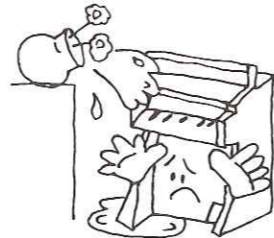
### 濡れた手で触れないで

濡れた手で電源プラグ・コードおよび本体に触れないでください。感電の恐れがあり大変危険です。



### 水・湿気は大敵です

水分や湿気の多い場所では、絶対に使用・保管しないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。



### コードは引っ張らないでください

電源コードの上に物を置いたり、引っ張ったりしないでください。感電の恐れがあり大変危険です。



### 鍵盤ボタンで挟まないように

手や指を挟まないよう、鍵盤ボタンの開閉に十分ご注意ください。



### キャスターに巻き込まれないように

キャスターを指などで触れたり、製品の進行方向に足や手を置いたりしないでください。キャスターに巻き込まれたり、衝突したりして、ケガをする恐れがあります。



### 放熱を妨げないでください

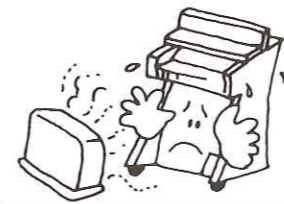
設置時は放熱をよくするために、背面と壁や他の機器との間に20cm以上の隙間をあけてください。また、通気口を新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで覆って換気を妨げたり、本機上に裸火を置いたりしないでください。放熱が不十分だと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



## ⚠ 注意

### 熱くなる場所を避けてください

自動車の中や暖房器具のすぐ近くなど、極端に熱くなる場所での使用・保管は避けてください。変形・故障の原因になることがあります。



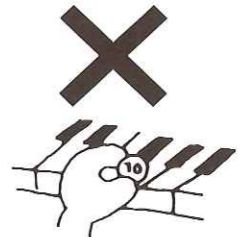
### ホコリっぽい場所は避けてください

ホコリの多いところでの使用・保管は避けてください。故障や発火などの原因になることがあります。



### 異物を入れないでください

楽器とくに鍵盤に異物や液体を入れないようにしてください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。



### 衝撃を与えないでください

楽器をぶつけたり、落としたりしないでください。製品に傷をつけるだけでなく、故障の原因になります。



### 不安定な場所に置かないでください

楽器を不安定な場所に置かないでください。転倒・落下をして思わぬケガをする危険があります。



### 使わないときはフロッピーディスクを抜いて

演奏しないときは、楽器保護のためディスクドライブからフロッピーディスクを抜いてください。



### 使わないときは電源プラグを抜いてください

ご使用の後は電源スイッチを切ってください。長時間演奏しないときは、楽器保護のためコンセントから電源プラグを抜いてください。



### お手入れはやわらかい布で

お手入れはやわらかい布でカラ拭きしてください。アルコール・シンナー・ベンジン等は製品を痛めますので絶対に使用しないでください。



### 異常を感じたら電源を切ってください

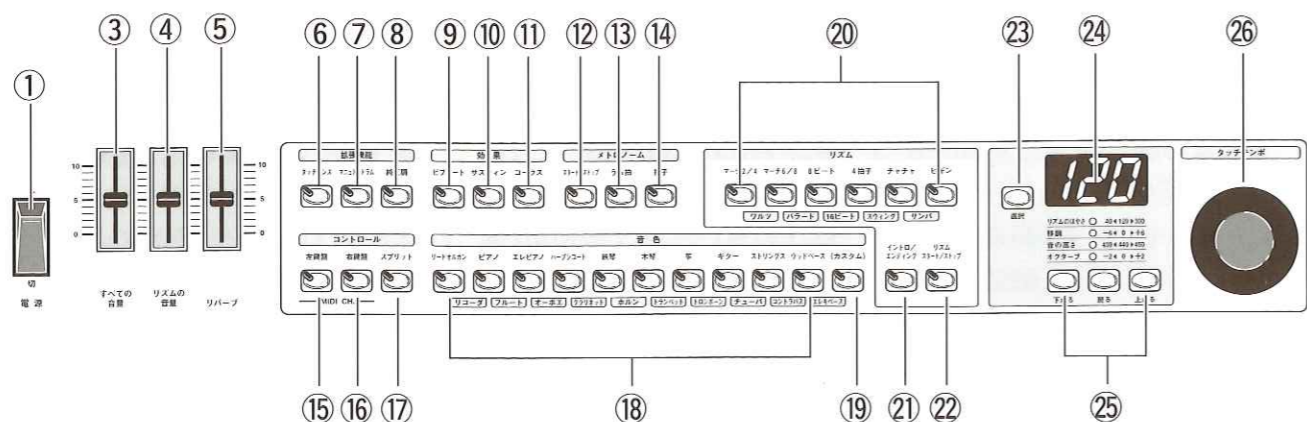
万一異臭や発熱など異常を感じたときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げ販売店またはスズキ各営業所にご連絡ください。





# 各部の名称とはたらき

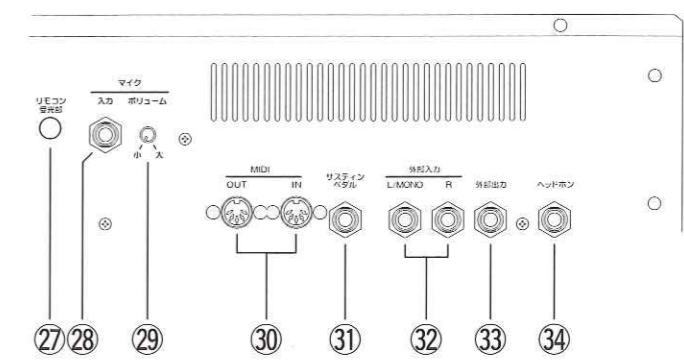
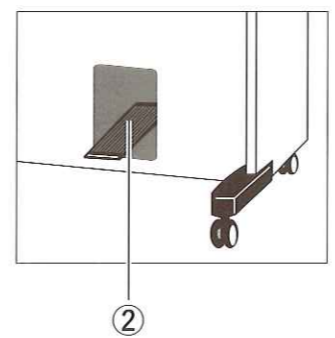
## [メインコントロールパネル]



- ① 電源スイッチ  
スイッチをオンにすると演奏できる状態になります。
- ② エクスプレッションペダル  
音量をコントロールします。ペダルを踏み込むと音が大きくなります。
- ③ すべての音量  
オルガン、リズム、MIDIの音量をコントロールします。
- ④ リズムの音量  
リズムの音量・マニュアルドラムの音量をコントロールします。
- ⑤ リバーブの音量  
音に、コンサートホールで演奏しているような残響を加えます。リバーブは右/左鍵盤とリズムにかかります。
- ⑥ タッチセンススイッチ  
ピアノのように、鍵盤を強く弾くと大きな音、弱く弾くと小さな音がでます。  
スイッチがオンのときランプが点灯します。
- ⑦ マニュアルドラムスイッチ  
鍵盤を弾くとイラストの打楽器の音がでます。  
スイッチがオンのときランプが点灯します。
- ⑧ 純正調スイッチ  
純正調ピッチで音を鳴らしたいときに使います。  
スイッチがオンのときランプが点灯します。
- ⑨ ビブラートスイッチ  
音を微妙にふるわせたいときに使います。  
スイッチがオンのときランプが点灯します。
- ⑩ サステインスイッチ  
鍵盤から指をはなした後も余韻を残したいときに使います。  
スイッチがオンのときランプが点灯します。
- ⑪ コーラススイッチ  
音に広がりをもたせたいときに使います。  
スイッチがオンのときランプが点灯します。
- ⑫ メトロノームスタートスイッチ  
メトロノームを鳴らしたいときに使います。  
スイッチを押すと、ランプがテンポに合わせて点滅します。
- ⑬ メトロノームうら拍スイッチ  
メトロノームでうら拍を鳴らしたいときに使います。  
スイッチがオンのときランプが点灯します。
- ⑭ メトロノーム拍子スイッチ  
メトロノームで拍子を入れたいときに使います。  
スイッチがオンのときランプが点灯します。
- ⑮ 左鍵盤コントロールスイッチ  
左鍵盤の音色を選びたいときに使います。  
スイッチがオンのときランプが点灯します。
- ⑯ 右鍵盤コントロールスイッチ  
右鍵盤の音色を選びたいときに使います。  
スイッチがオンのときランプが点灯します。
- ⑰ スプリットスイッチ  
右鍵盤と左鍵盤を分けたいときに使います。  
スイッチがオンのときランプが点灯します。
- ⑱ 音色スイッチ  
音色を選ぶときに使います。  
スイッチを押すとランプが点灯します。
- ⑲ カスタムボイス(内蔵音色)スイッチ  
内蔵音色を選ぶときに使います。  
スイッチを押すとランプが点灯します。  
そのときメインディスプレイに音色番号が表示され、『下がる』『戻る』『上がる』で選びます。
- ⑳ リズムスイッチ  
リズムのパターンを選ぶときに使います。  
スイッチを押すとランプが点灯します。
- ㉑ イントロ/エンディングスイッチ  
リズムにイントロやエンディングを付けたいときに使います。  
スイッチがオンのときランプが点灯します。
- ㉒ リズムスタート/ストップスイッチ  
リズムを鳴らしたいときに使います。  
スイッチを押すと、ランプがテンポに合わせて点滅します。
- ㉓ ディスプレイ選択スイッチ  
『リズムのはやさ』『移調』『音の高さ』『オクターブ』を切り替えるときに使います。
- ㉔ メインディスプレイ  
メインディスプレイ選択スイッチで選ばれたモードの数値を表示します。その他にもいろんな数値を表示します。
- ㉕ 『下がる』『戻る』『上がる』  
メインディスプレイに表示されている数値を変えるときに使います。
- ㉖ タッチテンポパット  
リズム(メトロノーム)のはやさを設定するときに使います。

## [リアパネル]

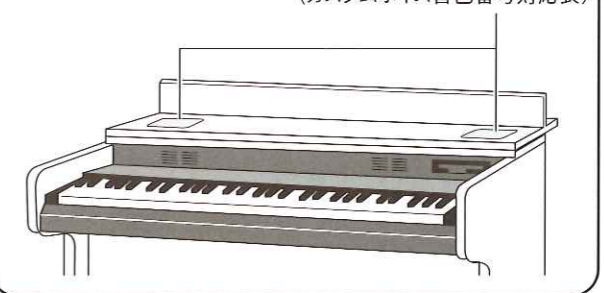
SO-910 IIの背部に位置しています。



- ㉗ リモコン受光部  
リモコンを使うとき、この受光部に向けて操作します。
- ㉘ マイク入力端子  
マイクを接続します。
- ㉙ マイクボリュームつまみ  
マイク入力の音量を調整するときに使います。
- ㉚ MIDI IN/OUT端子  
外部との送受信を行うとき、使用します。
- ㉛ サステインペダル端子  
サステインペダルFS-9H(別売)を接続します。電源を切った状態で接続します。(電源を入れたまま、接続すると誤作動することがあります。)ペダルを踏んでいる間、右鍵盤の音が持続します。
- ㉜ 外部入力端子  
他の楽器やオーディオ機器を接続します。
- ㉝ 外部出力端子  
外部アンプやオーディオ機器(テープレコーダー等)を接続します。
- ㉞ ヘッドホン端子  
ヘッドホンを接続します。

### ●付属品

- ・デモディスク
- ・楽譜(おもちゃのチャチャチャ)
- ・シール(SO-910 II カスタムボイス音色番号対応表)  
シールは、下図に示したような位置(譜面立の両サイド)へ貼ってください。
- ・リモコン(単四電池2本)
- ・専用椅子
- ・取扱説明書

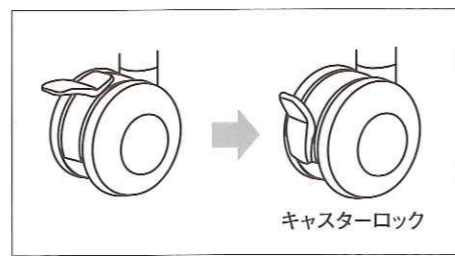
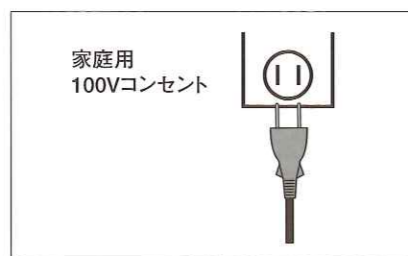




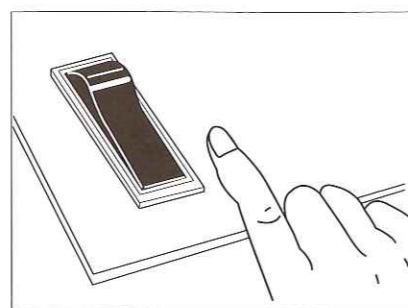
# 演奏するまえに

## 音を出してみよう

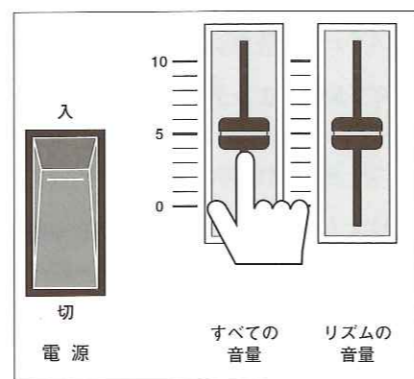
① 電源プラグをコンセントに差し込みキャスターをロックしてください。



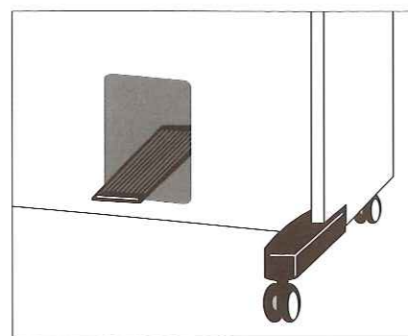
② 『電源』スイッチを入れます。



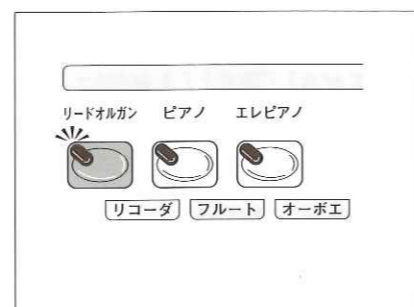
③ 『すべての音量』を調節します。



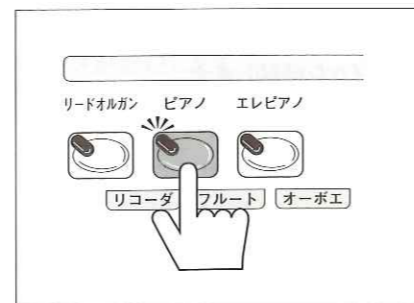
④ エクスプレッションペダルを踏み込みます。踏み込みの度合いで音を調節します。



⑤ 音色スイッチの『リードオルガン』が点灯しています。弾いてみましょう。リードオルガンの音が出ます。



⑥ そのとらにある『ピアノ』のスイッチを押して弾いてみましょう。ピアノの音が出ます。



## デモディスクを鳴らしてみよう

SO-910 II に付属されているデモディスクにはポピュラーからクラシックまで、様々なジャンルの曲が入っており、あらゆる機能を効果的に使用した構成になっています。SO-910 II の魅力あふれる演奏をお楽しみいただけます。

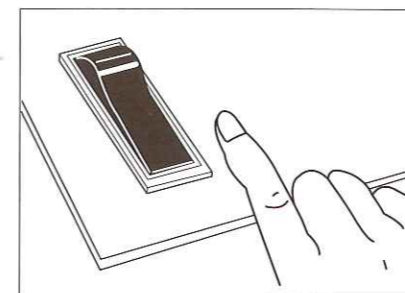
### 曲紹介

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1. おもちゃのチャチャチャ | 7. ドレミのうた          |
| 2. とんでったバナナ    | 8. 夜空ノムコウ          |
| 3. さんぽ         | 9. 思い出のアルバム        |
| 4. ものけ姫        | 10. 越天楽今様          |
| 5. 聖者の行進       | 11. ビバルディ・四季より 春   |
| 6. イマジン        | 12. アイネクライネナハトムジーク |

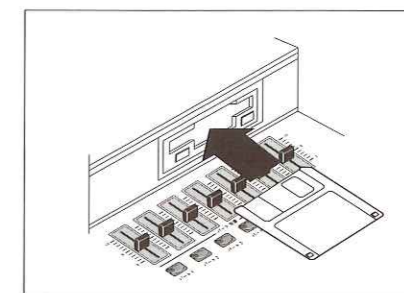


### 再生したいとき

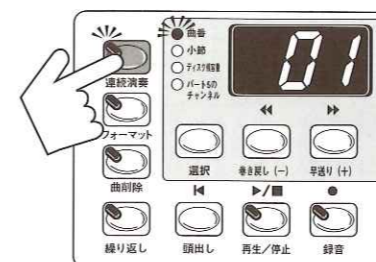
① 『電源』スイッチを入れます。



② デモディスクをディスク挿入口に入れます。

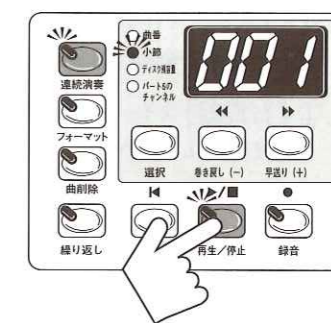


③ 『連続演奏』スイッチを押します。



④ 『再生/停止』スイッチを押します。

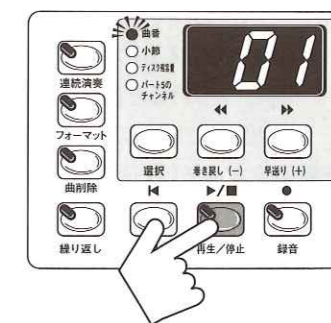
1曲目の「おもちゃのチャチャチャ」が再生され、連続して曲を再生していきます。



### 停止したいとき

『再生/停止』スイッチか『頭出し』スイッチを押します。

※ディスクセンサーについて詳しくは P18 をご覧ください。





# 演奏してみましよう

## 音色の設定

SO-910 IIは右鍵盤、左鍵盤の2つの独立した音色を鳴らすことができます。スプリット機能を使わない場合は、全鍵が右鍵盤の音色になります。スプリット機能を使うと、低い方の鍵盤が左鍵盤の音色となります。  
※スプリット機能に関して詳しくはP17をご覧ください。

### 1. 右鍵盤音色の設定

#### ●パネル音色の設定

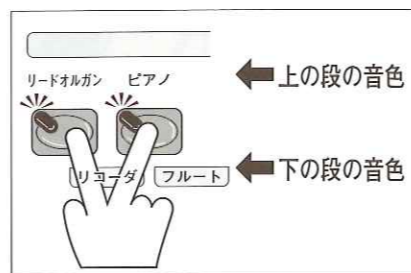
パネル音色は音色スイッチで選択できる20音色のことです。

- ①『右鍵盤』スイッチのランプが点灯しているか確認します。点灯していなければ『右鍵盤』スイッチを押します。



- ② 音色スイッチで音色を選びます。

上の段の音色は、例えば『ピアノ』の音色を使いたい場合、そのスイッチを押すとランプが点灯し、ピアノの音色が選ばれます。下の段の音色は、例えば『リコーダ』の音色を使いたい場合、上の段の音色スイッチ『リードオルガン』と『ピアノ』を同時に2つ押します。2つのスイッチのランプが点灯していれば、『リコーダ』の音色が選択されていることとなります。



#### ●カスタムボイス(内蔵音色)の設定

カスタムボイス(内蔵音色)とはパネル音色以外の音色のことです。SO-910 IIは全部で304の音色を持っています。

- ①『右鍵盤』スイッチのランプが点灯しているか確認します。点灯していなければ『右鍵盤』スイッチを押します。
- ② 音色スイッチの『カスタム』を押します。

『カスタム』スイッチのランプが点滅し、メインディスプレイに音色番号が表示されます。

- ③『上がる』スイッチ、『下がる』スイッチで音色番号を設定します。

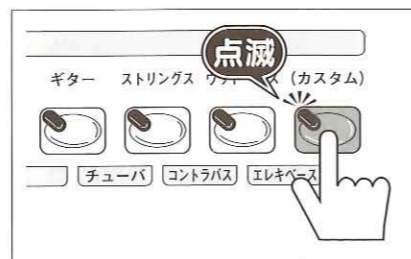
『上がる』スイッチを1回押すと番号が1つ上がります。

『下がる』スイッチを1回押すと番号が1つ下がります。

押しつづけると番号が変わり、1か304でとまります。

一度離してから押すと304から1、又は1から304になります。

※電源を立ち上げたとき、カスタムはドローバーオルガン(30)に設定してあります。



### 2. 左鍵盤音色の設定

#### ●パネル音色の設定

- ①『左鍵盤』スイッチのランプが点灯しているか確認します。点灯していなければ『左鍵盤』スイッチを押します。
- ② 音色スイッチで音色を選びます。スイッチの押し方に関しては、右鍵盤と同じです。



#### ●カスタムボイス(内蔵音色)の設定

- ①『左鍵盤』スイッチのランプが点灯しているか確認します。点灯していなければ『左鍵盤』スイッチを押します。
- ② 音色スイッチの『カスタム』を押します。『カスタム』スイッチのランプが点滅し、メインディスプレイに音色番号が表示されます。音色番号の設定のしかたは、右鍵盤と同じです。

※電源を立ち上げたとき、カスタムはティンパニ(141)に設定してあります。



#### カスタムボイス(内蔵音色)について

カスタムボイスは19種類、304音色あります。分類は下の表のとおりです。

グループ名	音色数	グループ名	音色数
ピアノ	13	金管楽器	21
クロマチックパーカッション	16	木管(リード)	13
Hammondオルガン	38	木管(パイプ)	10
パイプオルガン	15	シンセリード	14
アナログオルガン	12	シンセパッド	10
アコーディオン・金属リード	7	シンセSFX	9
ギター	18	エスニック	12
ベース	14	打楽器	19
オーケストラ	21	効果音	36
クワイヤー	6		

詳しくは、P50の一覧表をご覧ください。



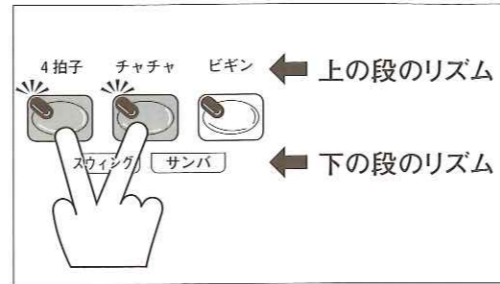
## リズムの設定

### 1.リズムパターンの設定

『リズム』スイッチでリズムを選びます。

上の段のリズムは、例えば『8ビート』を使いたいときは、そのスイッチを押すとランプが点灯し、8ビートのリズムが選べます。

下の段のリズムは、例えば『スウィング』を使いたいとき、『4拍子』と『チャチャ』を同時に2つ押します。2つのリズムランプが点灯していれば、『スウィング』が選択されていることになります。



### 2.リズムのはやさの設定

1分に4音符が何回かを設定します。例えば120であれば1分に4分音符が120回ということです。

①『リズムのはやさ』のランプが点灯するまで『選択』を押します。

②『上がる』スイッチ、『下がる』スイッチではやさを設定します。

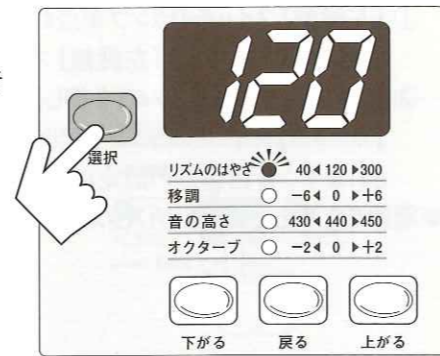
『上がる』スイッチを1回押すと数値が1つ上がります。

『下がる』スイッチを1回押すと数値が1つ下がります。

押しつづけると数値が変わり、40か300でとまります。

『戻る』を押すと、各リズムの初期設定に戻ります。

※タッチテンポパットでも、はやさを変えることができます。(P11参照)



#### リズムのはやさについて

リズムスタート中にリズムを変えた時にはリズムの速さは変わりません。

リズムストップ時にリズムを変えた時には各々のリズムで設定された速さに変わります。

リズムの初期設定	
マーチ2/4	-----120
ワルツ	-----150
マーチ6/8	-----120
バラード	-----60
8ビート	-----120
16ビート	-----100
4拍子	-----120
スウィング	-----140
チャチャ	-----120
サンバ	-----110
ビギン	-----120

### 3.リズムをスタートさせる

『リズムスタート/ストップ』スイッチを押すとランプがテンポに合わせて点滅しながらリズムパターンが鳴ります。

もう一度『リズムスタート/ストップ』スイッチを押すとリズムがとまります。

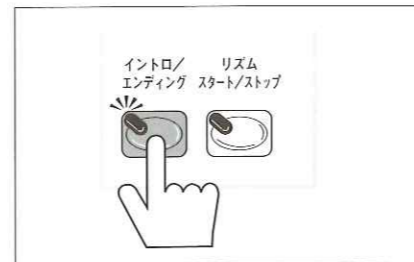


### 4.イントロ/エンディングをつける

①リズムにイントロパターンをつけて演奏したいとき、『イントロ/エンディング』スイッチを押してから、『リズムスタート/ストップ』スイッチを押します。

②リズムにエンディングをつけて演奏を終了したいとき、リズム演奏中に『イントロ/エンディング』スイッチを押します。

※エンディングパターンにいったん入ると、演奏終了までリズムパターンは変わりません。

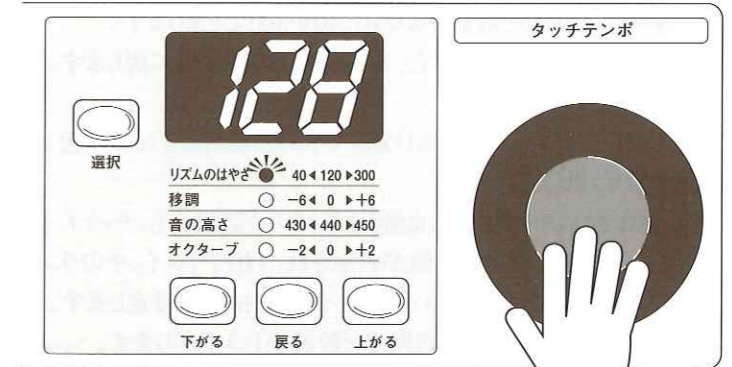


## 5.タッチテンポを使ってリズムのはやさを変える

タッチテンポでも、リズムのはやさの設定が行えます。はやくたたけばリズムもはやく、またゆっくりたたけばリズムもゆっくりになります。たたきはやさに合わせて、リズムのはやさが変わります。

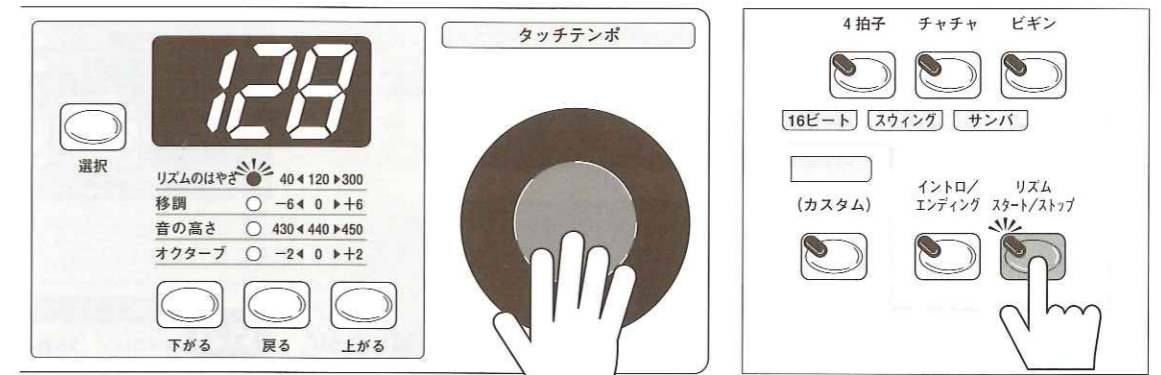
『タッチテンポパット』を手で軽くたたきます。

4回のタッチでリズムがスタートします。(ワルツなど3拍子のリズムは3回のタッチでスタートします。)



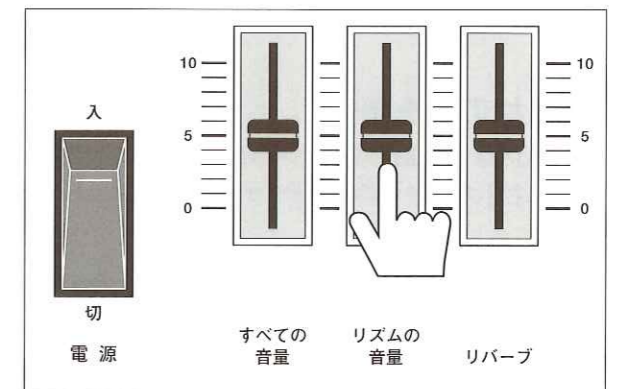
3回のタッチでリズムテンポが表示され  
4回のタッチでリズムがスタートします

『タッチテンポパット』をもう一度タッチするか、『リズムスタート/ストップ』スイッチを押すとストップします。



## 6.リズムの音量の設定

『リズムの音量』で音の大きさを調節して下さい。

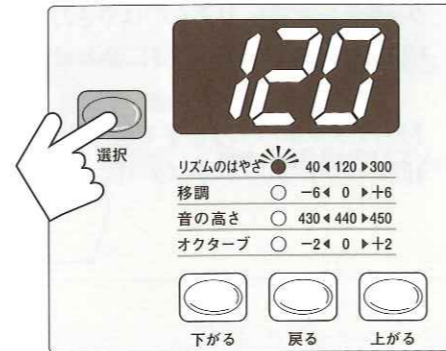




## メトロノームの設定

### 1. リズムのはやさの設定

- ①『リズムのはやさ』のランプが点灯するまで『選択』スイッチを押します。
- ②『上がる』スイッチ、『下がる』スイッチで、はやさを設定します。  
『上がる』スイッチを1回押すと数値が1つ上がります。  
『下がる』スイッチを1回押すと数値が1つ下がります。  
押しつづけると数値が変わり、40か300でとまります。  
『戻る』スイッチを押すと、各リズムの初期設定に戻ります。



### 2. 拍子の設定

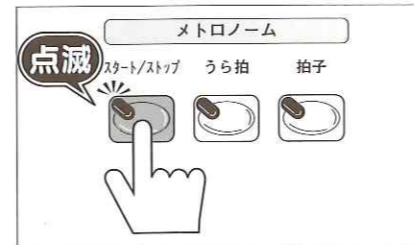
- ①『拍子』スイッチを押します。  
メインディスプレイに数値が表示され、『拍子』スイッチのランプが点滅します。
- ②『上がる』スイッチ、『下がる』スイッチで拍子を設定します。  
『上がる』スイッチを1回押すと数値が1つ上がります。  
『下がる』スイッチを1回押すと数値が1つ下がります。  
押しつづけると数値が変わり、1か6でとまります。  
『戻る』スイッチを押すと、4(4拍子)になります。



- 1…クリック音のみです。
- 2…2拍ごとにベルがなります。
- 3…3拍ごとにベルがなります。
- 4…4拍ごとにベルがなります。
- 5…5拍ごとにベルがなります。
- 6…6拍ごとにベルがなります。

### 3. メトロノームをスタートさせる

- 『スタート/ストップ』スイッチを押すとランプがテンポに合わせて点滅しながらメトロノームが鳴ります。  
もう一度『スタート/ストップ』スイッチを押すとメトロノームがとまります。



### 4. うら拍の音を出す

- うら拍とは…1拍のちょうど半分の音符のことで、リズムを感じるうえで、非常に重要な音符です。  
『うら拍』スイッチを押すとランプが点灯し、メトロノームのうら拍が鳴ります。



## 効果の設定

それぞれの音色により表現力をつけるために3種類の『効果』スイッチを持っています。



### ビブラート

音を微妙にふるわせたい時に使用します。  
音色を選択した時にビブラートが入っている方がよい音色については自動的にオンになります。

右鍵盤/左鍵盤独立して設定できますので『右鍵盤』スイッチ、『左鍵盤』スイッチを確認して設定して下さい。

### サステイン

鍵盤から指をはなした後も余韻を残したい時に使用します。

音色によっては最初から余韻の長いものがあり、オンにしてもあまり長さが変わらないものもあります。  
右鍵盤/左鍵盤独立して設定できますので『右鍵盤』スイッチ、『左鍵盤』スイッチを確認して設定して下さい。

### コーラス

音に広がりをもたせたいときに使用します。

右鍵盤/左鍵盤独立して設定できますので『右鍵盤』スイッチ、『左鍵盤』スイッチを確認して設定して下さい。



# よりよい演奏のために

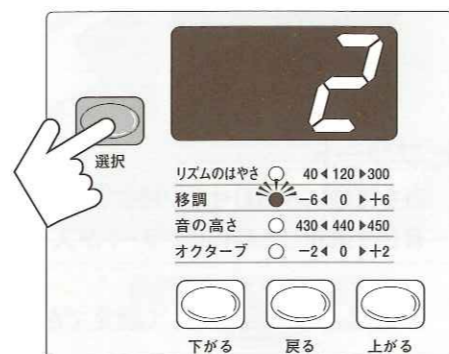
## 移調(トランスポーズ)の設定

- ①『移調』のランプが点灯するまで『選択』スイッチを押します。
- ②『上がる』スイッチ、『下がる』スイッチで数値を設定します。  
『戻る』スイッチを押すと0に戻ります。

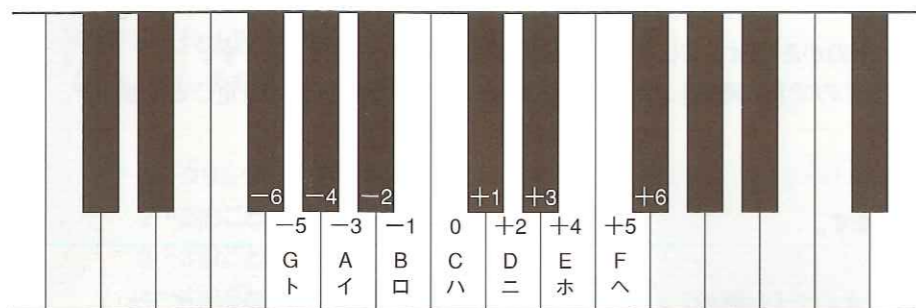
±1で半音(100cent)変化します。

-6から+6まで設定できます。

鍵盤の音色とシーケンサーの音色すべてに設定されます。



ディスプレイに表示される数字と調の関係



## 音の高さ(チューニング)の設定

430Hzから450Hzまで設定できます。

鍵盤の音色とシーケンサーの音色すべてに設定されます。

- ①『音の高さ』のランプが点灯するまで『選択』スイッチを押します。
- ②『上がる』スイッチ、『下がる』スイッチで数値を設定します。  
『戻る』スイッチを押すと440Hzに戻ります。

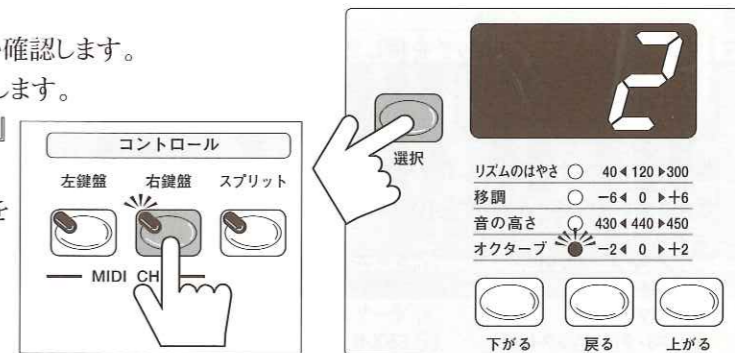


## オクターブの設定

### 1.右鍵盤音色のオクターブの設定

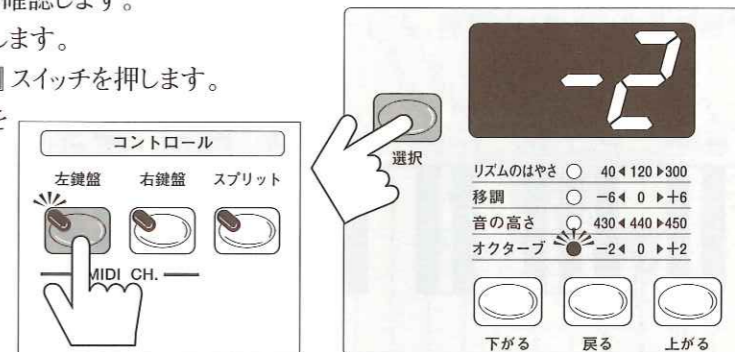
±1で1オクターブ(12音)変化します。-2から+2まで設定できます。

- ①『右鍵盤』スイッチのランプが点灯しているか確認します。  
点灯していなければ『右鍵盤』スイッチを押します。
- ②『オクターブ』のランプが点灯するまで『選択』スイッチを押します。
- ③『上がる』スイッチ、『下がる』スイッチで数値を設定します。  
『戻る』スイッチを押すと0に戻ります。



### 2.左鍵盤音色のオクターブの設定

- ①『左鍵盤』スイッチのランプが点灯しているか確認します。  
点灯していなければ『左鍵盤』スイッチを押します。
- ②『オクターブ』のランプが点灯するまで『選択』スイッチを押します。
- ③『上がる』スイッチ、『下がる』スイッチで数値を設定します。  
『戻る』スイッチを押すと0に戻ります。



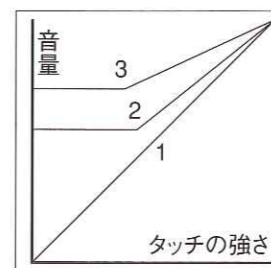
## タッチセンスの設定

鍵盤のタッチによって音の強弱をつけることができます。

- ①『タッチセンス』スイッチを押します。  
『タッチセンス』スイッチのランプが点滅し、メインディスプレイにカーブ番号が表示されます。
- ②タッチセンスカーブを変えたいときは、『上がる』スイッチ、『下がる』スイッチで数値を設定します。  
1,2,3の3種類のタッチセンスカーブを設定できます。(グラフを参照ください。)

※以下の音色を選ぶと自動的に『タッチセンス』がオフになります。

- ハープシコード、カップルドハープシコード
- Hammondオルガングループ(全38音色)
- パイプオルガングループ(全15音色)
- アナログオルガングループ(全12音色)
- アコーディオン・金属リードグループ(全7音色)





## マニュアルドラムの設定

鍵盤で打楽器の音を鳴らす機能です。電源を入れた状態で『マニュアルドラム』のスイッチを押すと、鍵盤の上のイラストの打楽器の音が出ます。鍵盤E6から上に効果音が割り当ててあります。更にSO-910 II ではドラムセットが10セット(他に9種類)用意されています。

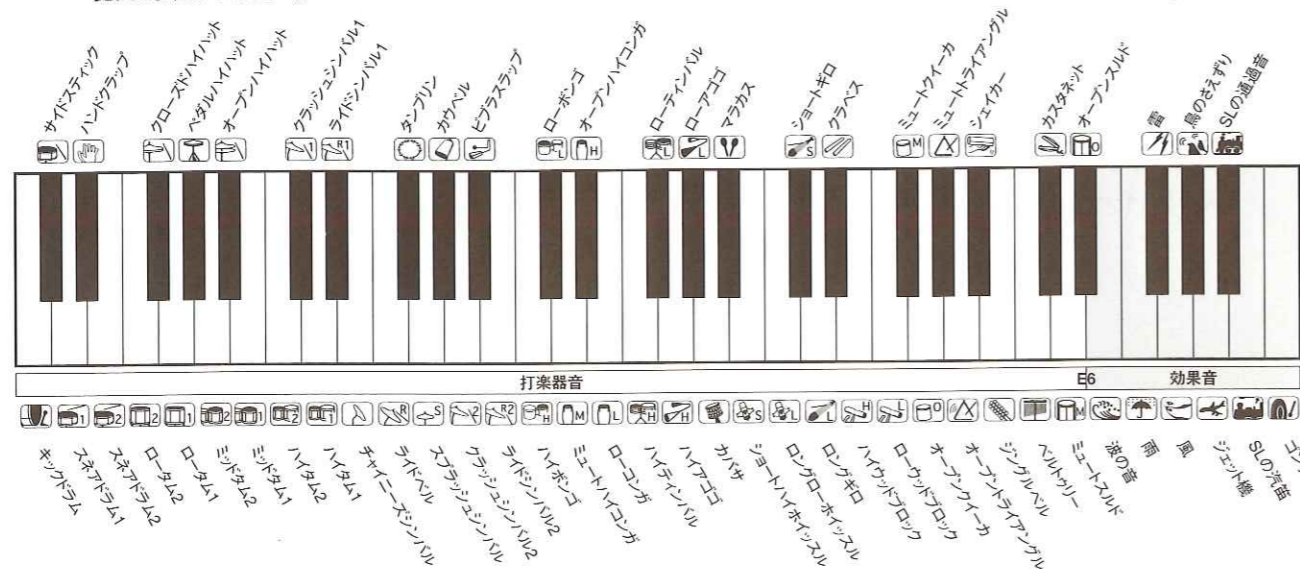
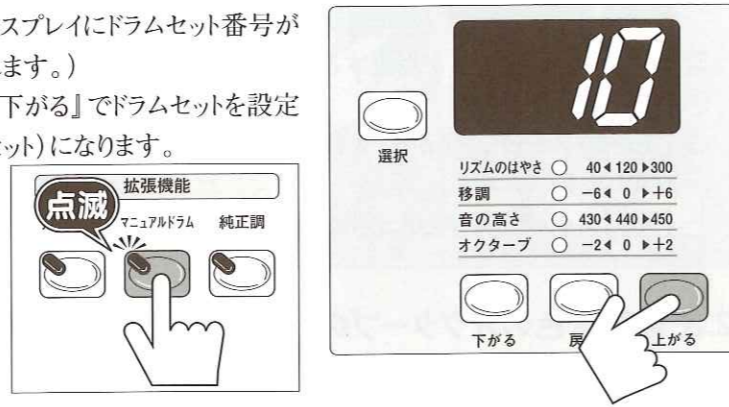
### ①『マニュアルドラム』スイッチを押します。

『マニュアルドラム』のランプが点滅し、メインディスプレイにドラムセット番号が表示されます。(マニュアルドラムは10と表示されます。)

### ②他のドラムセットに変更したいときは、『上がる』『下がる』でドラムセットを設定できます。『戻る』を押すと10(マニュアルドラムセット)になります。

- |               |                              |
|---------------|------------------------------|
| ① スタンダードセット   | ⑥ ジャズセット                     |
| ② ルームセット      | ⑦ ブラシセット                     |
| ③ パワーセット      | ⑧ オーケストラセット                  |
| ④ エレクトロニックセット | ⑨ SFXセット                     |
| ⑤ アナログセット     | ⑩ マニュアルドラムセット<br>(鍵盤の上のイラスト) |

※①～⑩までのドラムセットの内容はP48-49のドラムセット一覧表を参照してください。



## 純正調の設定

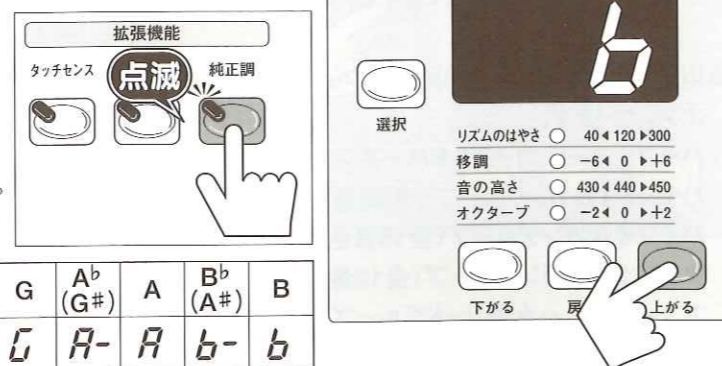
『純正調』スイッチを押すと、純正調ピッチで鳴らすことができます。オフのときは平均律になります。

### ①『純正調』スイッチを押します。

『純正調』スイッチのランプが点滅し、メインディスプレイに調が表示されます。

### ②調を変えたいときは、『上がる』『下がる』スイッチで調を設定します。

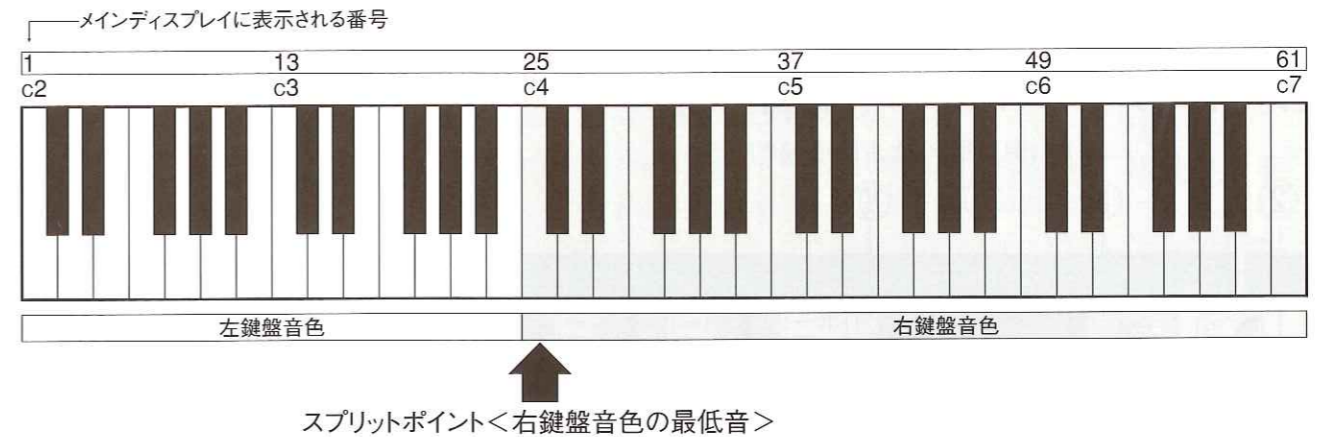
『上がる』スイッチを1回押すと調がすすみます。『下がる』スイッチを1回押すと調が戻ります。押し続けると調が変わり **C** か **b** で止ります。『戻る』スイッチを押すと **C** になります。



調	C	D <sup>b</sup> (C#)	D	E <sup>b</sup> (D#)	E	F	G <sup>b</sup> (F#)	G	A <sup>b</sup> (G#)	A	B <sup>b</sup> (A#)	B
表示	<b>C</b>	<b>d-</b>	<b>d</b>	<b>E-</b>	<b>E</b>	<b>F</b>	<b>G-</b>	<b>G</b>	<b>A-</b>	<b>A</b>	<b>b-</b>	<b>b</b>

## スプリットの設定

スプリット機能とは、鍵盤を任意の場所で2つに分け、同時に2音色鍵盤で鳴らす機能です。



- 例1. 左鍵盤音色にウッドベースを選択し右鍵盤音色にピアノを選択して左手でベース、右手でピアノを弾くことができます。  
例2. 右鍵盤、左鍵盤ともにピアノを選択し、オクターブで左鍵盤を+1、右鍵盤を-1にし、練習時に先生と生徒で鍵盤の低い方と高い方で弾くことができます。

## スプリット機能の設定

電源を立ち上げた状態は25 (c4) に設定されています。

### ①『スプリット』スイッチを押します。

『スプリット』スイッチのランプが点滅し、メインディスプレイにスプリットポイントが表示されます。

### ②スプリットポイントを変更したいとき、『上がる』『下がる』スイッチで数値を設定できます。

『戻る』スイッチを押すと25 (c4) になります。

### 鍵盤を使って設定する方法

- ①『スプリット』スイッチを押しながら、変更したい鍵盤を弾きます。
- ②設定が終れば、『スプリット』スイッチを離します。

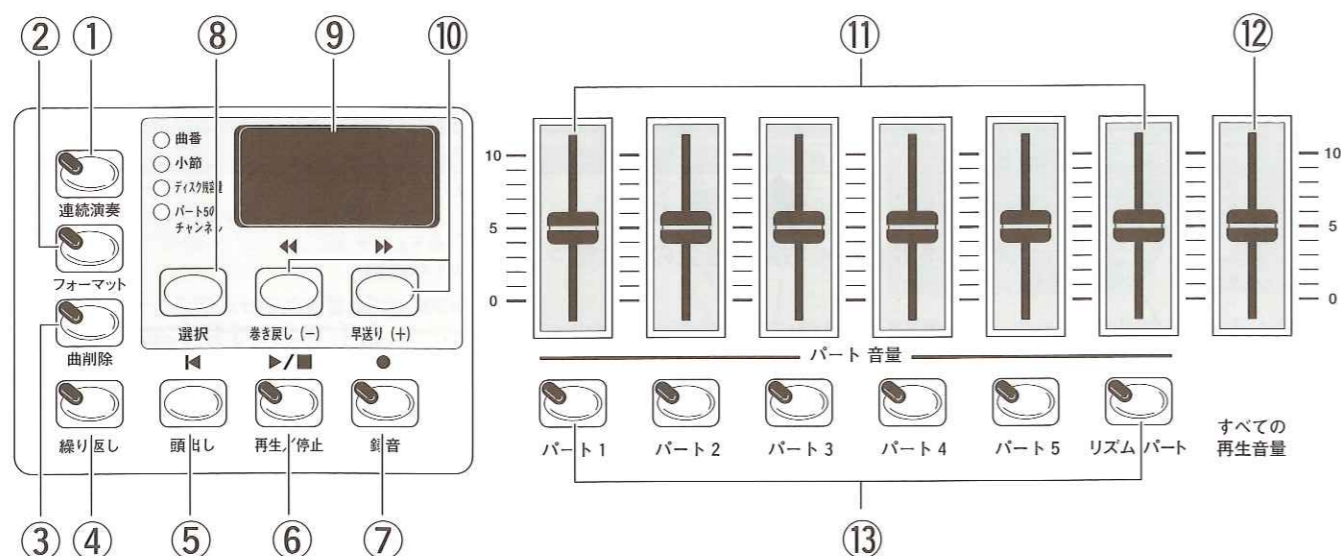




# ディスクシーケンサーの操作

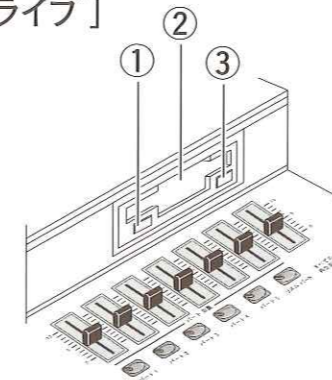
## 各部の名称とはたらき

### [シーケンサーコントロールパネル]



- ① 連続演奏スイッチ  
1枚のディスクに入っている曲を連続して再生したいときに使います。
- ② フォーマットスイッチ  
ディスクをフォーマット(初期化)したいときに使います。
- ③ 曲削除スイッチ  
ディスクに入っている曲を削除したいときに使います。
- ④ 繰り返しスイッチ  
1曲のなかで任意の区間で繰り返したいときに使います。
- ⑤ 頭出しスイッチ  
曲を頭出ししたいときに使います。
- ⑥ 再生/停止スイッチ  
曲の再生/停止をしたいときに使います。
- ⑦ 録音スイッチ  
曲を録音したいときに使います。
- ⑧ ディスプレイ選択スイッチ  
「曲番」「小節」「ディスク残容量」「パート5のチャンネル」を切り替えるときに使います。
- ⑨ シーケンサーディスプレイ  
ディスプレイ選択スイッチで選ばれたモードの数値を表示します。
- ⑩ 巻き戻しスイッチ・早送りスイッチ  
曲を「巻き戻し」「早送り」をしたいときに使います。また、ディスプレイの数値を変更したいときに使います。
- ⑪ パート音量  
各パートの音量をコントロールしたいときに使います。
- ⑫ すべての再生音量  
すべてのパートの音量(曲)をコントロールしたいときに使います。
- ⑬ パートスイッチ  
再生、録音したいソパートを選択するときに使います。

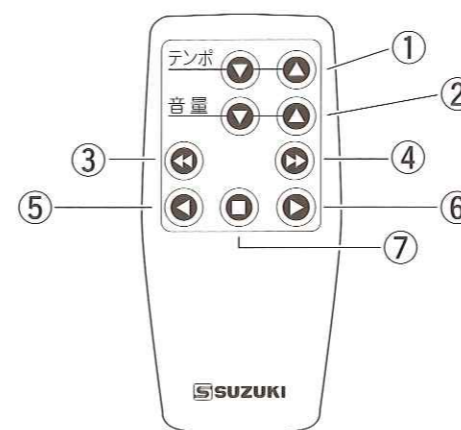
### [ディスクドライブ]



- ① ディスクアクセスランプ  
ディスクを読み書きしているときにランプが点灯します。
- ② ディスク挿入口  
ディスクをいれるところです。
- ③ イジェクトボタン  
ディスクを取り出したいときに使います。

## リモコンについて

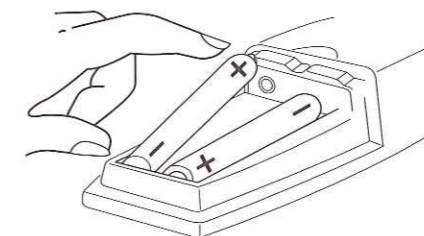
### [専用リモコン]



- ① テンポスイッチ  
リズムのはやさを変えたいときに使います。
- ② 音量スイッチ  
すべての音量をコントロールしたいときに使います。
- ③④ 巻き戻しスイッチ・早送りスイッチ  
曲の再生中に「巻き戻し」「早送り」したいとき、又は、曲の停止時に曲の番号を変更したいときに使います。
- ⑤ 頭出しスイッチ  
曲を頭出ししたいときに使います。
- ⑥⑦ 再生スイッチ・停止スイッチ

### お使いになる前に

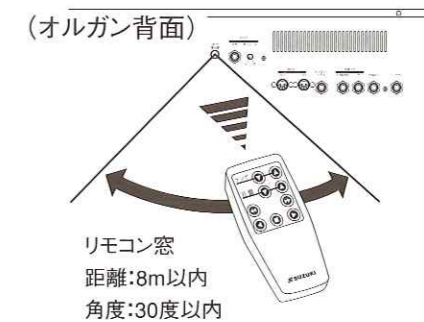
リモコンは、出荷時には電池がセットされていません。お使いになるまえに付属の単四乾電池をセットします。



+-を間違えないように入れてください。

### ご注意

- 使用時はSO-910 IIのセンサー窓にリモコンを向け、動作範囲で操作してください。
- 操作可能範囲内であっても、間に障害物があるなどして正常に動作しないことがあります。
- 電池が消耗してくると正常に動作しないことがあります。
- 長くご使用にならないときは電池を外しておいてください。
- リモコンでは2つ以上のボタン操作を同時に送信することはできません。



**電池の処分について**  
使用済の乾電池は「燃えないゴミ」として、お住まいの市町村のルールにしたがって処分してください。

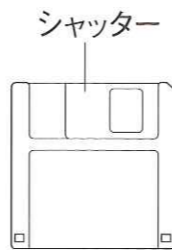


## フロッピーディスクについて

SO-910 II は2DD、2HDの3.5インチフロッピーディスクを使用して、録音・再生することができます。

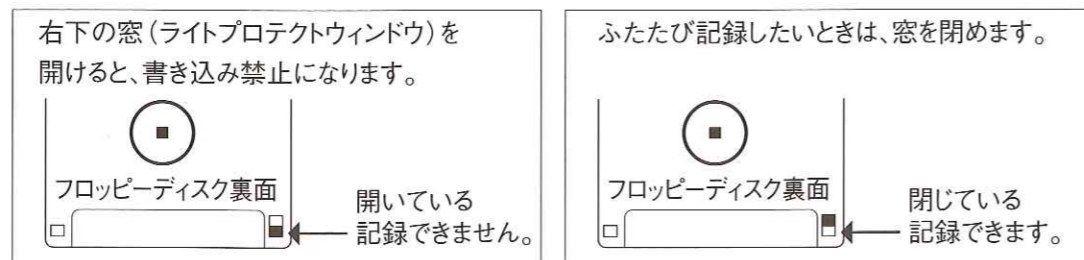
### フロッピーディスクの取り扱い

- フロッピーディスクにラベルを貼るときは、ラベルに内容を記入してから貼ってください。
- フロッピーディスクに重いものを乗せたり、クリップではさんだり、折り曲げたりしないように注意してください。
- フロッピーディスクのシャッターをスライドさせて、内部のディスク面に手を触れないでください。
- テレビ、スピーカー、マグネットキーなど、磁気を帯びたものから遠ざけてください。
- 直射日光の当たるところ、高温・低温のところに置かないでください。また、水やタバコなどの煙にも注意してください。



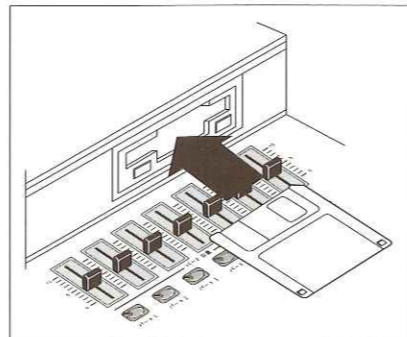
### ライトプロテクト(書き込み禁止)

大切なデータを誤って消さないために、ライトプロテクト(書き込み禁止)をすることができます。ライトプロテクトをするとディスクの内容が保護され、読み込みはできますが、記録ができなくなります。



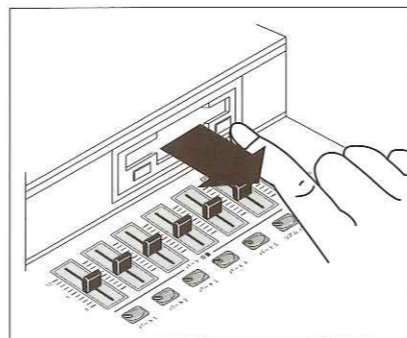
### ディスクの入れ方

ディスクのラベル面を上にして、「カチッ」と音がしてイジェクトボタンが飛び出すまで、ディスク挿入口へ押し込みます。



### ディスクの取り出し方

アクセスランプが点灯していないことを確認して、イジェクトボタンを押して取り出します。



### 注意

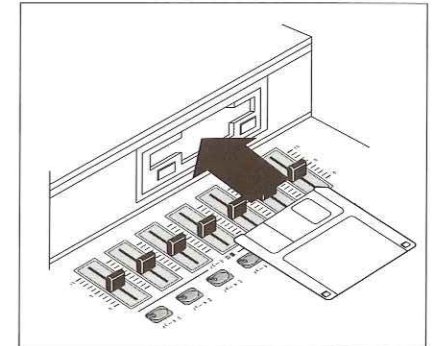
アクセスランプが点灯しているときは、絶対にフロッピーディスクを取り出さないでください。また、ディスクが入ったまま電源を切らないでください。データの破損だけでなく、本体の故障の原因となります。

## フロッピーディスクのフォーマット

フォーマット(初期化)されていないフロッピーディスクでは、録音・再生することができません。フォーマットすると、すでに録音されていた内容は、すべて消えてしまいますのでご注意ください。

### フォーマットのしかた

- ①フロッピーディスクをディスク挿入口に入れてください。

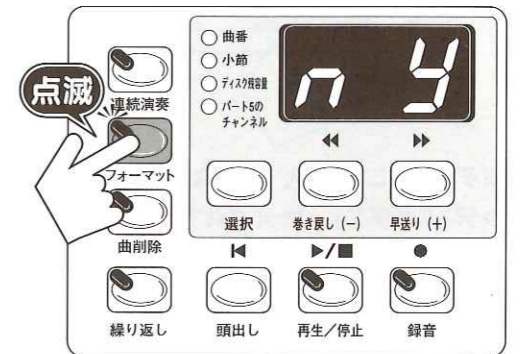


### 注意

ライトプロテクトがかかっていないことを確認してください。穴が閉じた状態でフォーマット可です。



- ②「フォーマット」スイッチを押します。  
「フォーマット」スイッチのランプが点滅し、シーケンサーディスプレイに「n 4」と表示されます。  
※ n はノー、4 はイエスの意味です。



- ③フォーマットを開始します。  
「早送り(+）」スイッチを押すと、「フォーマット」スイッチのランプが点灯し、フォーマットを開始します。  
ディスプレイに160から1までカウントダウンされます。  
※フォーマットを開始したくないときは、「巻戻し(-)」スイッチを押します。



- ④フォーマットの終了  
フォーマットが終了するとディスプレイに「nod」と表示されます。  
※ノーデータ(nod)の意味です。

フォーマットの種類	
2HD 3.5インチフロッピーディスク	1.44M IBMフォーマット
2DD 3.5インチフロッピーディスク	720K IBMフォーマット



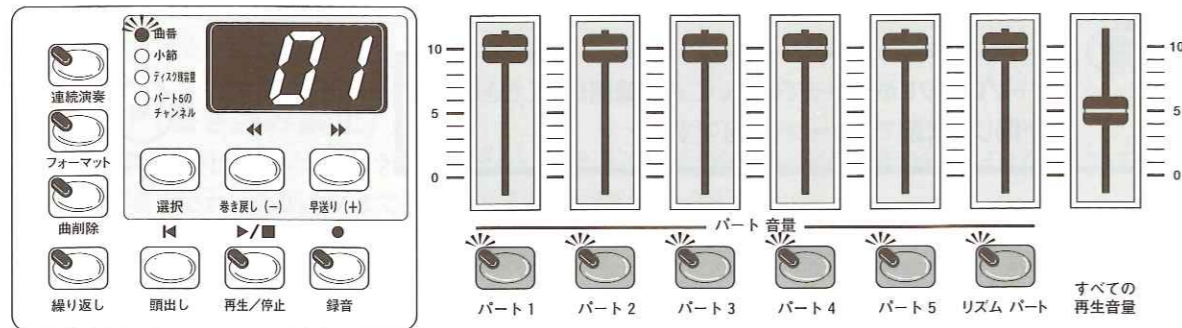
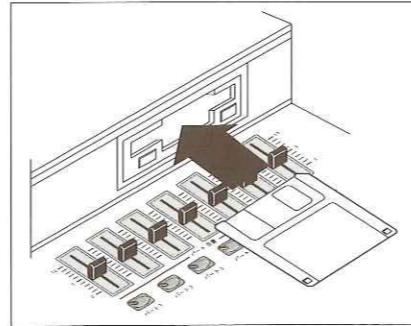
## 再生のしかた

### 1. ディスクをディスク挿入口に入れます

曲がディスクに録音されていれば1曲目という意味の「01」が表示され、『パート』スイッチのランプが緑色に点灯します。

(点灯しないパートには演奏が録音されていません。)

※自動的に1曲目がロードされます。

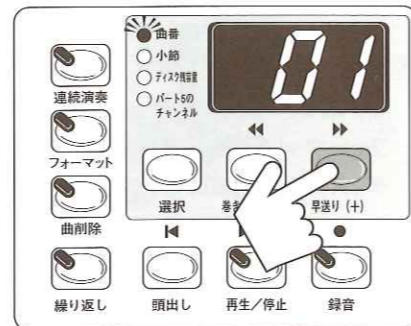


※ディスクに1曲も入っていない時、「noD」と表示されます。

※ディスクがフォーマットされていないとき「noF」と表示されます。ディスクをフォーマットしてください。(P21参照)

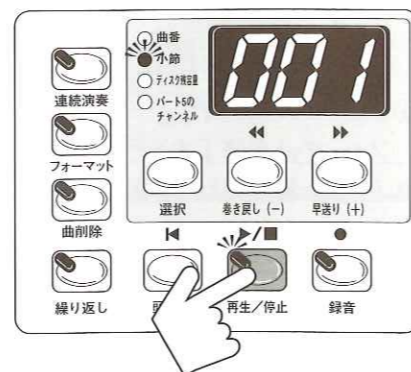
### 2. 選曲

再生する曲の番号を『早送り(+)]スイッチ、『巻き戻し(-)]スイッチで選択します。



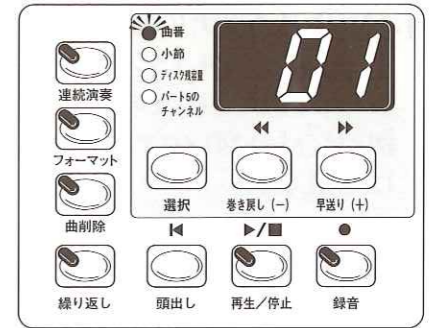
### 3. 『再生/停止』スイッチを押します

『再生/停止』スイッチのランプが点灯し、ディスプレイに小節数の「001」が表示され、曲が再生されます。



### 4. 曲の終了

曲の演奏が終了すると自動的に曲の頭に戻り停止します。この時、ディスプレイには曲番が表示されます。



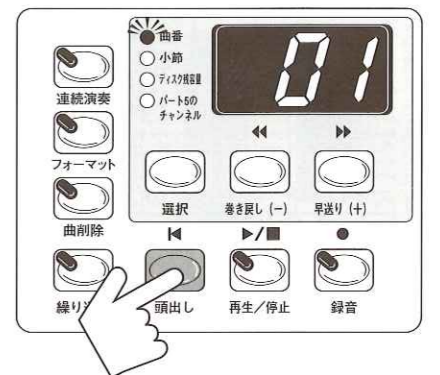
### 5. 一時停止

再生中に『再生/停止』スイッチを押すとランプが点滅し、一時停止します。



### 6. 頭出し

曲の再生中か一時停止中に『頭出し』スイッチを押すと、曲の演奏が止まり、曲の頭に戻ります。この時、ディスプレイには曲番が表示されます。『再生/停止』スイッチのランプは消えます。

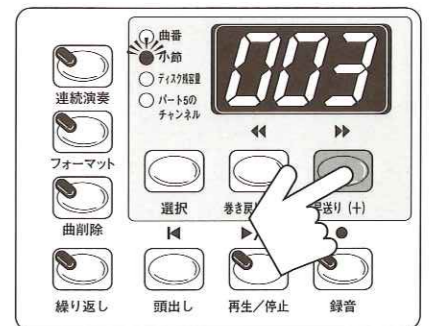


### 7. 巻き戻し(-)・早送り(+)

曲の再生中に『早送り(+)]スイッチを押すと高速再生します。

『巻き戻し(-)]スイッチを押すと曲は止まり、ディスプレイの小節数が1つずつ移動します。離れた時に、再び曲の演奏が始まります。

一時停止中または、小節のランプが点灯しているときに『巻き戻し(-)]スイッチ、『早送り(+)]スイッチを押すと1小節ずつ移動します。





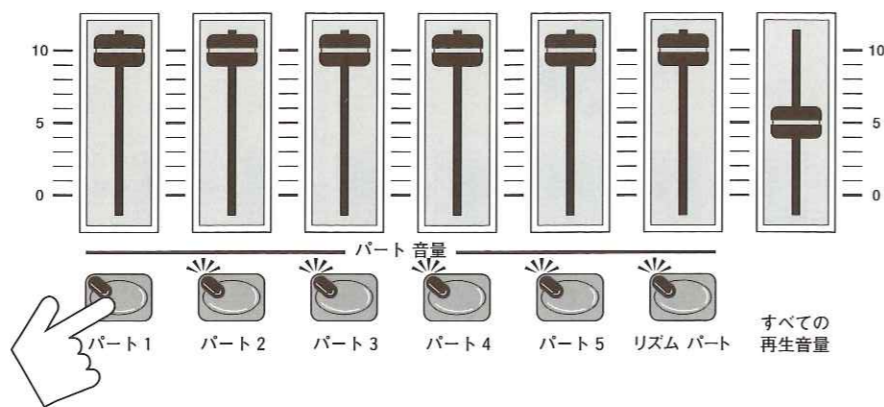
## パートスイッチの操作と音量調節

### 1. パートスイッチの操作

パートスイッチを押してランプが緑色になっていると、そのパートは再生されます。

ランプが消えているとそのパートは再生されません。

例えば、パート1のメロディを消して、そのパートを他の楽器で演奏する時などに使用します。



### 2. パートナンバーとMIDIチャンネル

それぞれのパートはSMF(スタンダードMIDIファイル)のMIDIチャンネルに対応しています。

#### ■対応表

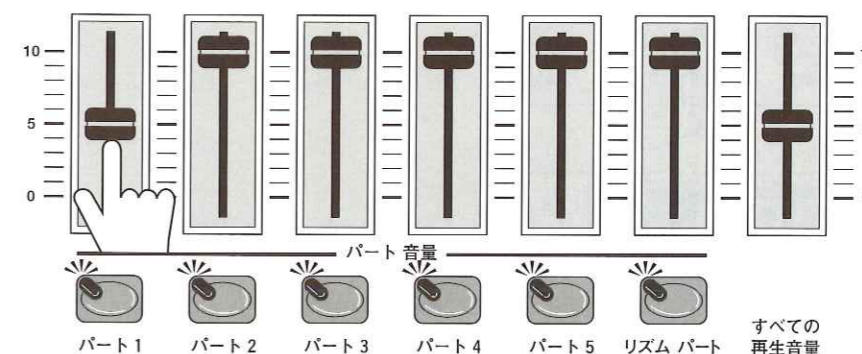
パートナンバー	MIDIチャンネル
パート1	1チャンネル
パート2	2チャンネル
パート3	3チャンネル
パート4	4チャンネル
パート5	5~9、11~16チャンネル
リズムパート	10チャンネル

### 3. パート音量

それぞれのパートスイッチの上にあるパート音量で各パートの再生音量を調節することができます。

例えば、パート1のメロディを少し小さな音量にして、他の楽器とアンサンブルする時に使用します。

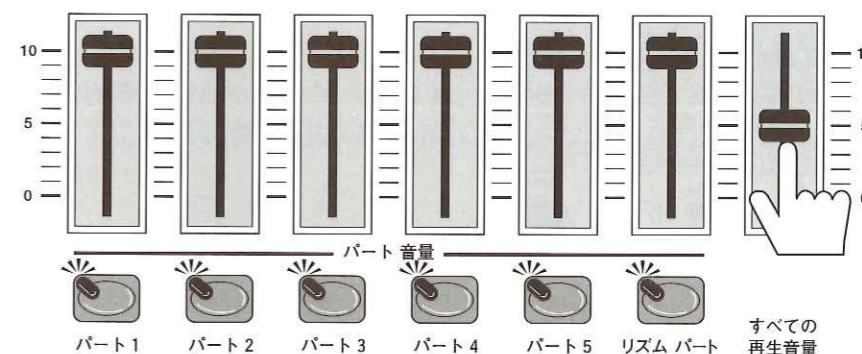
※各パート間のバランスはパート音量を最大にした時に一番よいバランスに設定されているので、通常は最大にして使用してください。



### 4. すべての再生音量

シーケンサー全体の音量を調節します。

鍵盤の音量または、リズムの音量とのバランスを調節する時に、使用してください。





## 繰り返し再生のしかた

同じ曲のすべてまたは一部分を繰り返し再生します。

### 1.1 曲すべてを繰り返し再生するとき

#### ① 開始点を設定します。

曲を再生する前に、『繰り返し』スイッチを押します。

『繰り返し』スイッチのランプが点滅し、曲の頭が開始点として設定されます。



#### ② 曲の演奏をスタートします。

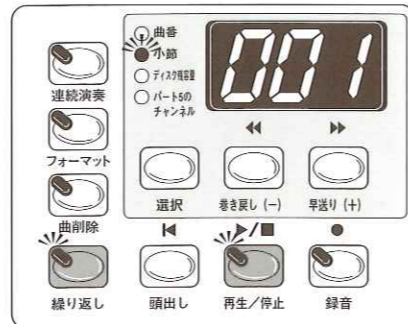
『再生/停止』スイッチを押します。

『再生/停止』スイッチのランプが点灯し曲が演奏されます。



#### ③ 終了点が決定されます。

曲の演奏が終了すると、『繰り返し』スイッチのランプが点灯し、自動的に曲の終りが終了点として設定され、曲の頭から繰り返し演奏されます。



#### ④ 繰り返しを解除します。

繰り返し機能を解除するには、『繰り返し』スイッチを押します。ランプが消灯し、通常動作に戻ります。

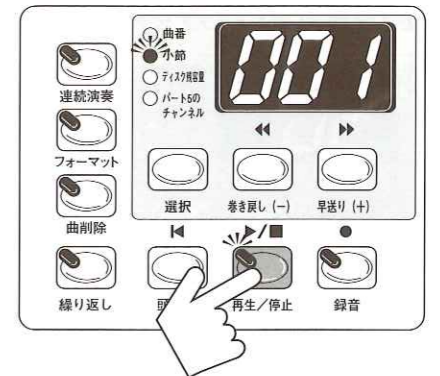
※曲の演奏が終了する前に解除するには『頭出し』スイッチを押します。



### 2. 曲の途中を繰り返し再生するとき (A・Bリピート)

#### ① 曲の演奏をスタートします。

『再生/停止』スイッチを押し、曲を再生します。



#### ② 開始点を設定します。

曲の演奏途中で繰り返しをはじめたいところで、『繰り返し』スイッチを押すと、そこが開始点として設定されます。

『繰り返し』スイッチのランプが点滅し、開始点が設定されている状態になります。



#### ③ 終了点を設定します。

曲の演奏途中で繰り返したい終了点でもう一度『繰り返し』スイッチを押します。

『繰り返し』スイッチのランプが点灯され、終了点が設定されます。

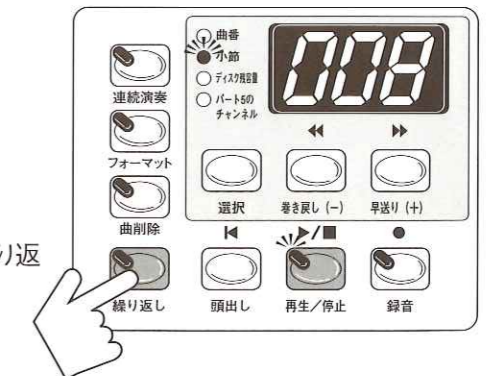


#### ④ 繰り返しを解除します。

繰り返し機能を解除するには、『繰り返し』スイッチを押します。ランプが消灯し、通常動作に戻ります。

※繰り返し機能は開始点と終了点を設定することにより任意の区間で繰り返しさせることができます。

開始点の設定	「繰り返し」スイッチのランプが <b>点滅</b>
終了点の設定	「繰り返し」スイッチのランプが <b>点灯</b>

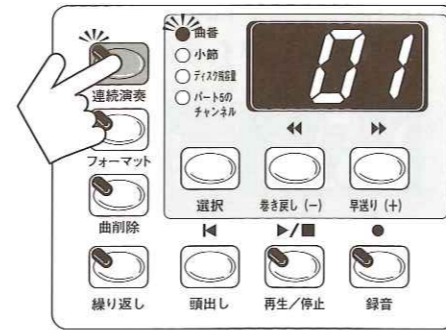




## 連続演奏のしかた

ディスクに入っている曲を順番に再生する機能です。

①『連続演奏』スイッチを押します。



②『再生/停止』スイッチを押します。

ディスプレイに表示されている曲番から順番に再生されます。  
最後の曲が終了すると、1曲目が再生されます。



③連続演奏を解除します。

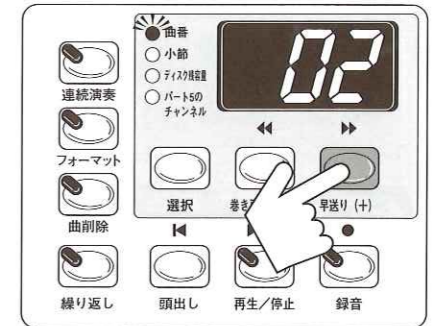
『連続演奏』スイッチを押します。  
ランプが消えて連続演奏が解除されます。

## 曲の削除

ディスクに入っている曲を削除したい時に使用します。ここでは、5曲入っているディスクの2曲目を削除する場合を想定してみましょう。

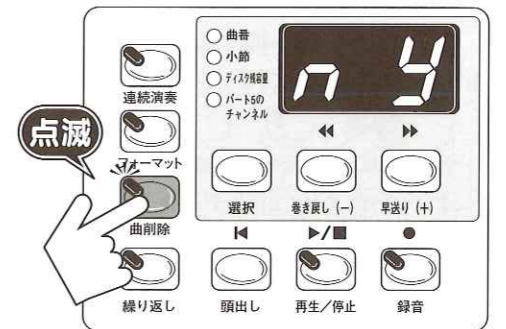
①削除したい曲番(2曲目)を選びます。

ディスプレイに曲番が表示されているのを確認します。  
そうでなければ、『選択』スイッチで曲番にランプを移動させます。  
『巻戻し(-)』スイッチ、『早送り(+)]スイッチで削除したい曲番(2曲目)を選びます。



②『曲削除』スイッチを押します。

『曲削除』ランプが点滅し、ディスプレイに **n y** と表示されます。  
※ n はノー、y はイエスの意味です。



③曲を削除します。

『早送り(+)]スイッチを押すと y (イエス) が選択されたことになり、『曲削除』スイッチのランプが点灯し、曲を削除します。  
削除したくないときは『巻戻し(-)』スイッチを押すと n (ノー) になり、曲削除はキャンセルされます。



④削除の終了

削除が終了すると『曲削除』スイッチのランプが消え、次の曲をロードします。  
(2曲目が削除されたことで3曲目に入っていた曲が繰り上がり、2曲目としてロードされます。)

ディスプレイの曲番号は次の曲がある場合、そのまま番号を表示します。最後の曲を削除した場合は、1つ前の曲番が表示されます。(5曲目を削除すると4曲目まで表示されます。)

曲番	曲名
No.1	A
No.2	B
No.3	C
No.4	D
No.5	E

曲番(演奏順) No.2の  
Bという曲を削除すると

曲番	曲名
No.1	A
No.2	C
No.3	D
No.4	E

曲番(演奏順) No.2はCと  
いう曲になり、C以降の全  
曲曲番が繰り上がります。

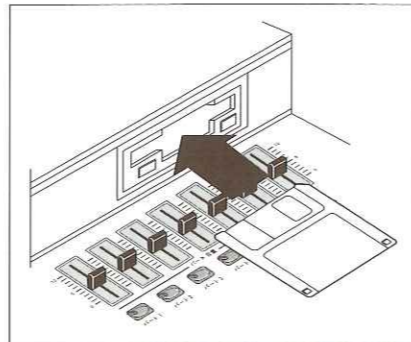


## 録音のしかた

### 1. 曲を最初から録音してみましょう。

#### ① ディスクを入れます。

フォーマット (P21参照) されたディスクをディスク挿入口に入れてください。  
 ※フォーマットされたばかりのディスクを入れると **no00** と表示されます。これは曲がまだ入っていないというメッセージです。



#### 注意

ライトプロテクトがかかっていないことを確認してください。(P20参照)

#### ② 録音する曲番の選択をします。

『録音』スイッチを押すと、ランプが点滅します。  
 ※もう一度『録音』スイッチを押すと録音は中止されます。

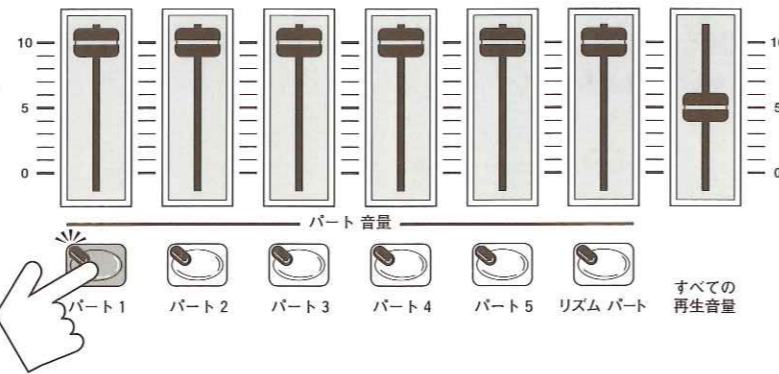
ディスクに曲のデータがないときは、**no01** と表示されます。  
 すでにディスクに曲のデータがあるときは **001** が表示されます。  
 この場合、「早送り (+)」スイッチを押して **n** の表示の曲番に移動します。  
 (録音済みの曲数+1が **n** の表示の曲番です。例えば、録音済みの曲数が3曲だった場合、**004** と表示されます。)

※ **n** の表示がない曲番を選択した状態で、新しい曲を録音する場合、その曲番に既に入っていた曲は新しい曲に上書きされてしまいますのでご注意ください。



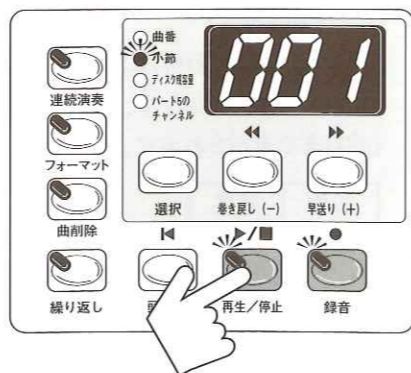
#### ③ 録音パートの選択をします。

録音するパートの『パート』スイッチを押すと、ランプが赤く点灯します。



#### ④ 録音を開始します。

『再生/停止』スイッチを押します。  
 『再生/停止』スイッチ、『録音』スイッチのランプが点灯します。  
 メトロノームのカウントが入りますので、小節数が **001** になったら演奏をスタートしてください。録音が始まります。



#### ⑤ 録音を終了します。

『再生/停止』スイッチを押すと、録音が終了します。  
 『録音』スイッチ、『再生/停止』スイッチのランプが消え、録音されたパートのランプが緑色にかかります。

### 2. 曲の途中から録音してみましょう (パンチイン録音)

すでにディスクに録音されている曲を訂正したい場合などに便利な機能です。  
 例えば、パート3の演奏を8小節目から録音し直したいという場合を想定してみましょう。

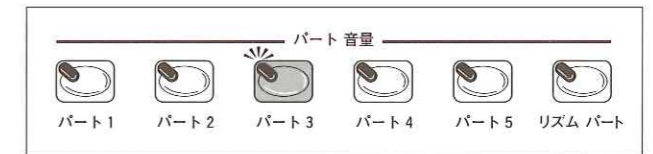
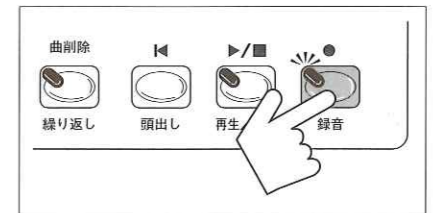
#### ① 録音したい位置を決定します。

『再生/停止』スイッチを押し、曲を再生させます。  
 シーケンサーディスプレイを見ながら録音したい位置 (8小節目になった瞬間) で『再生/停止』スイッチを押します。  
 『再生/停止』スイッチのランプが点滅し、一時停止になります。



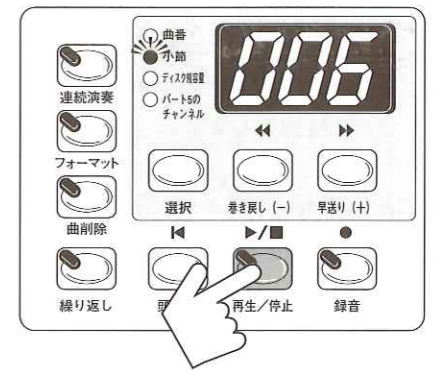
#### ② 録音の準備をします。

『録音』スイッチを押し、録音したいパートのスイッチ (パート3) を押すと、ランプが赤く点灯します。



#### ③ 録音を開始します。

『再生/停止』スイッチを押すと、①で決定した位置の2小節前 (6小節目) から曲が鳴りはじめ、①で決定した位置の小節 (8小節目) になった瞬間から録音がスタートします。パート3の演奏を開始してください。この時、演奏は最後までおこなってください。途中でやめると、そこから最後までパート3には何も録音されていない状態になります。



※鍵盤を弾くか、『リズムスタート/ストップ』スイッチを押すと録音が自動スタートします。

ただしこの場合、曲が鳴りはじめるのは決定した位置の2小節前 (6小節目) からではなく、決定したその位置から (8小節目) になります。

#### ④ 録音を終了します。

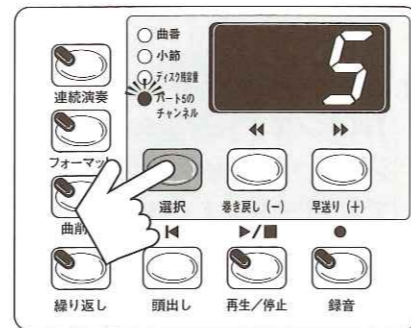
『再生/停止』スイッチを押します。



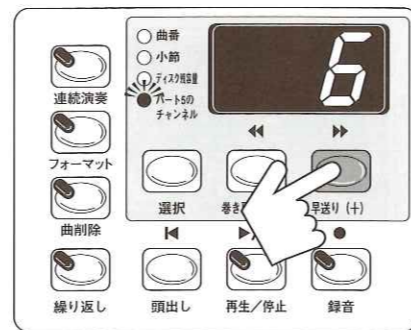
## パート5の録音チャンネルを選ぶ

パート5にはMIDIチャンネルの5～9、11～16があります。このチャンネルから1チャンネルずつ録音することができます。

- ①『選択』スイッチを押して『パート5のチャンネル』のランプを点灯させます。



- ②『巻戻し(-)』スイッチ、『早送り(+)]スイッチを押して、パート5の録音チャンネルを選びます。



- ③通常の録音のしかたで録音します。(P30参照)

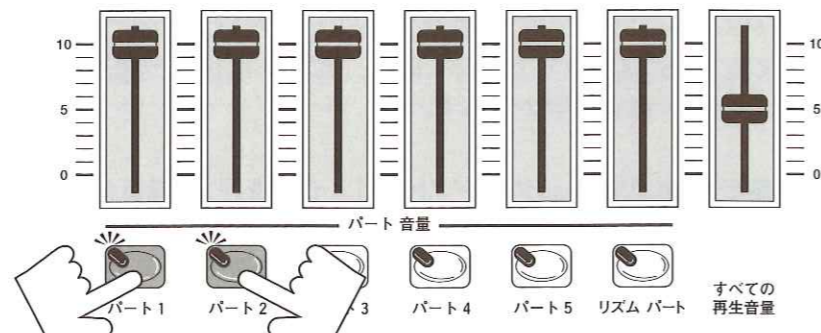
## スプリット時の録音

スプリットスイッチを押し、右鍵盤と左鍵盤を同時に録音することができます。

- ①録音パートの選択をします。

右鍵盤を録音したいパートの『パート』スイッチを押します。ランプが赤く点灯します。次に、左鍵盤を録音したいパートの『パート』スイッチを押します。ランプが赤く点灯します。

- ②通常の録音のしかたで録音します。  
(P30参照)



例:1番目に押す(右鍵盤) 2番目に押す(左鍵盤)

必ず、先にスイッチを押したパート(パート1)には右鍵盤が、次にスイッチを押したパート(パート2)には左鍵盤が録音されます。

### マルチ録音

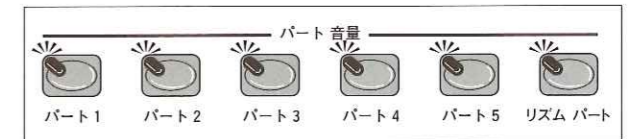
SO-910 II では右鍵盤と左鍵盤とリズムパートを同時に録音することができます。

## MIDI INからの録音

MIDI INからの情報をすべてシーケンサーに録音するモードです。16チャンネル分のデータを同時に録音することができます。

- ①『録音』スイッチを2秒以上押し続けます。

すべてのパートスイッチのランプが赤く点灯します。  
※解除するには『録音』スイッチをもう一度押します。



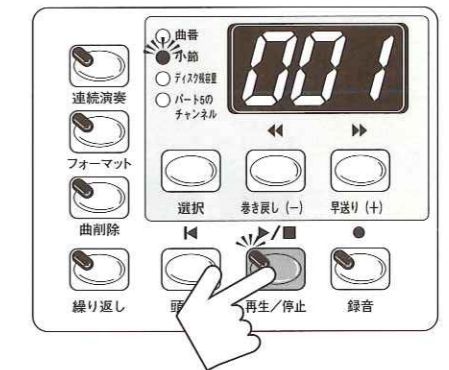
- ②録音スタート

『再生/停止』スイッチを押すとランプが点灯し、録音がスタートします。

- ③MIDI機器からデータを送信してください。

- ④終了

『再生/停止』スイッチを押します。



## ディスク残容量の確認

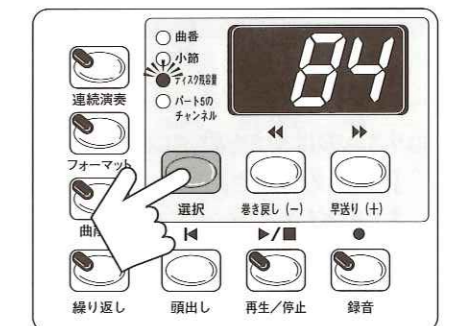
- ①録音したいディスクをディスク挿入口に入れます。

- ②『ディスクの残容量』のランプが点灯するまで『選択』スイッチを押します。

- ③シーケンサーディスプレイに表示されている数値がディスクの残容量です。

単位はパーセント(%)です。

※ディスクをフォーマットした状態で100%と表示します。

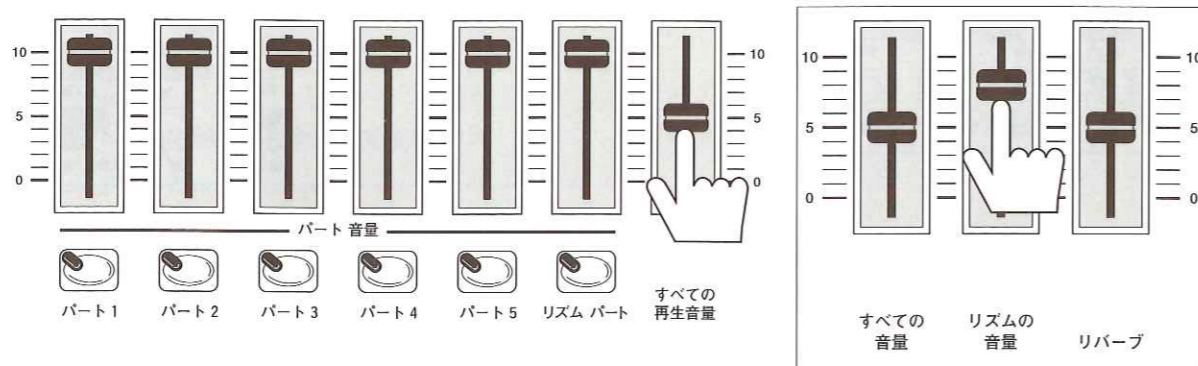




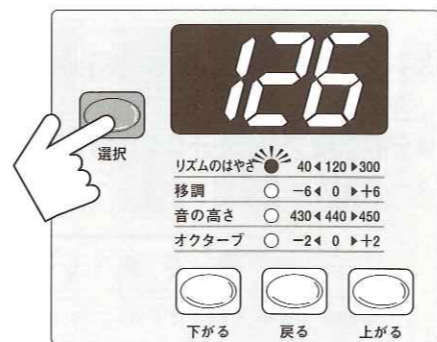
# 「しあわせなら手をたたこう」を録音しましょう

## 1.リズムパートにリズム(スウィング)を録音します。

- ①フォーマットされたディスク(P21参照)をディスク挿入口にいれます。
- ②リズムの音量とリズム(スウィング)を設定します。  
各パート音量を最大にし、『すべての再生音量』は5に設定します。  
『リズムスタート/ストップ』スイッチを押し、リズム(スウィング)をスタートさせ、音を聞きながら『リズム音量』を好みの大きさに調整します。



- ③リズムのはやさを設定します。  
『リズムのはやさ』のランプが点灯するまで『選択』スイッチを押します。  
『上がる』スイッチ、『下がる』スイッチで126に設定し、『リズムスタート/ストップ』スイッチを押して、リズムをいったんストップさせます。



- ④『録音』スイッチを押すとランプが点滅します。  
(もう一度『録音』スイッチを押すと、録音は中止されます。)

曲のデータがないときは「n01」が表示されます。  
すでに録音されていて、曲のデータがあるときは「01」が表示されます。  
『早送り』でnの表示の曲番に移動します。(録音済みの曲数+1がnの表示の曲番です。)

楽譜の小節数を確認します。(12小節)



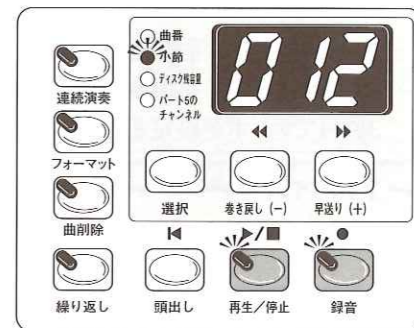
- ⑤『リズムパート』スイッチを押すと、ランプが赤く点灯します。



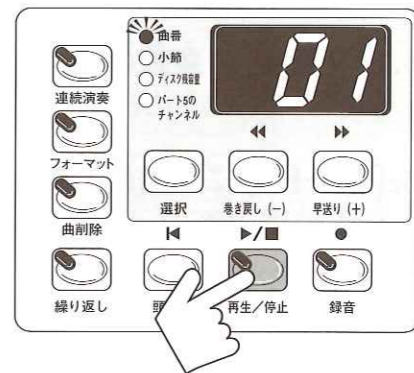
- ⑥『リズムスタート/ストップ』スイッチを押すと、録音が自動スタートします。  
リズム(スウィング)を12小節間録音します。



- ⑦録音中は『小節』のランプが点灯し、シーケンサーディスプレイには録音中の小節数が表示されます。



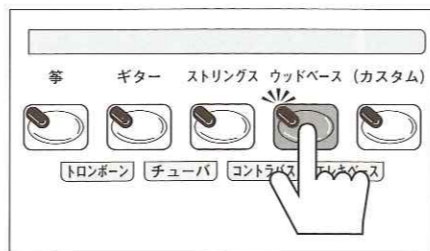
- ⑧12小節間録音したら、『再生/停止』スイッチを押し、録音を停止します。  
ディスクの書き込みが終了すると、シーケンサーディスプレイに表示されている曲番は点滅から点灯に変わり、『リズムパート』スイッチのランプが緑色に点灯します。



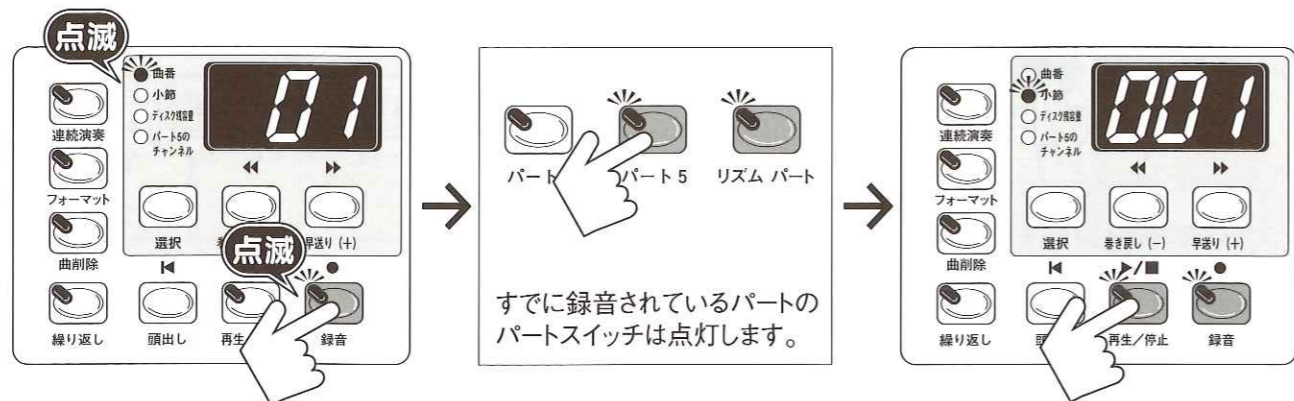


## 2.パート5に楽譜のパート5を録音します。

①音色(ウッドベース)と音量を設定します。音量はエクスペッションペダルで演奏しながら調整します。



②『録音』スイッチ→『パート5』スイッチ→『再生』スイッチの順でスイッチを押して録音操作をおこないます。メトロノームのカウントが入りますので、小節数が **001** になったら演奏をスタートしてください。録音が開始されます。その時、リズムパートも再生されるので、リズムに合わせて演奏します。



③演奏後、『再生/停止』スイッチを押し、録音を停止します。ディスクの書き込みが終了すると、シーケンサーディスプレイに表示されている曲番は点滅から点灯に変わり、『パート5』スイッチのランプが緑色に変わります。

### アドバイス

♩=126のテンポで演奏しにくい場合は、テンポをタッチテンポパッドで任意の速さに設定してから、録音を始めます。録音時は設定した任意の速さとなりますが、録音後再生すると♩=126で再生されます。3回目でテンポが設定され、表示されます。

### アドバイス

途中でやり直す時は一度『再生/停止』スイッチを押し、そのパートをもう一度始めから録音操作します。

## 3.「パート1」に楽譜のパート1を録音します。

音色(トランペット)と音量を設定し、2と同操作で録音します。

## 4.「パート4」に楽譜のパート4を録音します。

音色(リードオルガン)と音量を設定し、2と同操作で録音します。

## 5.「パート3」に楽譜のパート3を録音します。

音色(ストリングス)と音量を設定し、2と同操作で録音します。

## 6.「パート2」に楽譜のパート2を録音します。

音色(鉄琴)と音量を設定し、2と同操作で録音します。

## 7.録音されたディスクを聞いてみましょう。

すべてのパート録音が終了したら、『再生/停止』スイッチを押し、ディスクを再生してみましょう。

## しあわせなら手をたたこう

アメリカ曲

♩ = 126



## MIDIについて

MIDI (ミディ)とはMusical Instrument Digital Interface (ミュージカル・インストゥルメント・デジタル・インターフェイス)の略で、楽器どうしを接続して演奏情報を交換しあうための統一規格です。

MIDI対応の電子楽器であれば、どこの国のどのメーカーのものでも、情報の交換ができます。

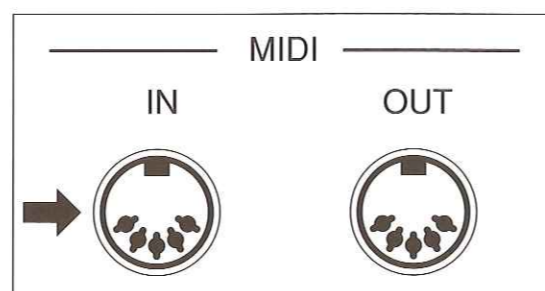
1台の楽器を演奏して他の楽器を1斉に鳴らしたり、ひとりだけのアンサンブルやオーケストラなど……電子楽器の可能性が無限に広がる機能です。

## MIDI端子について

SO-910 IIにはMIDI (IN,OUT)の2つの端子があります。

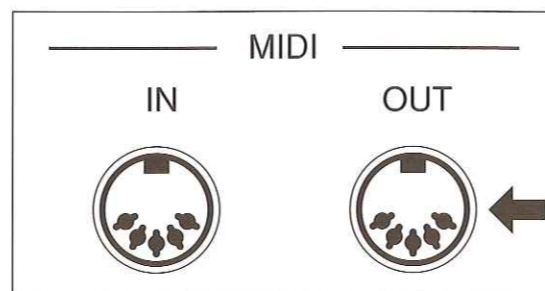
### MIDI IN:

MIDI信号を受け取る端子です。ここで受け取った信号に従って音が出ます。

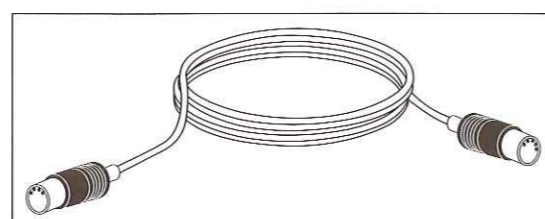


### MIDI OUT:

自分が演奏している楽器の情報をMIDI信号にして送り出す端子です。



MIDI端子は専用のMIDIケーブルで接続することができます。

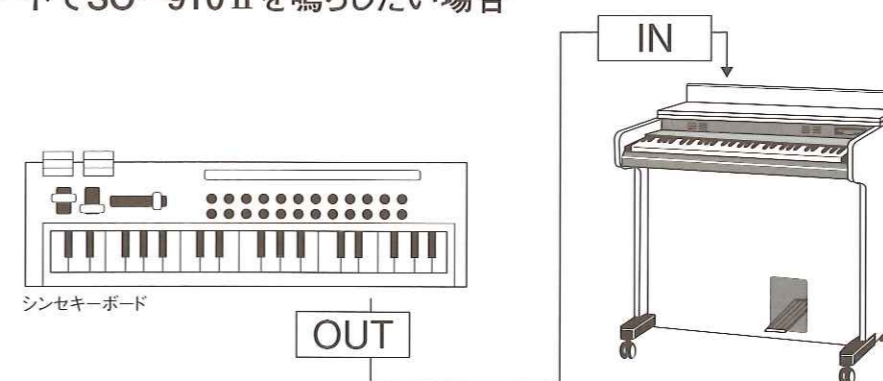


## MIDIの接続

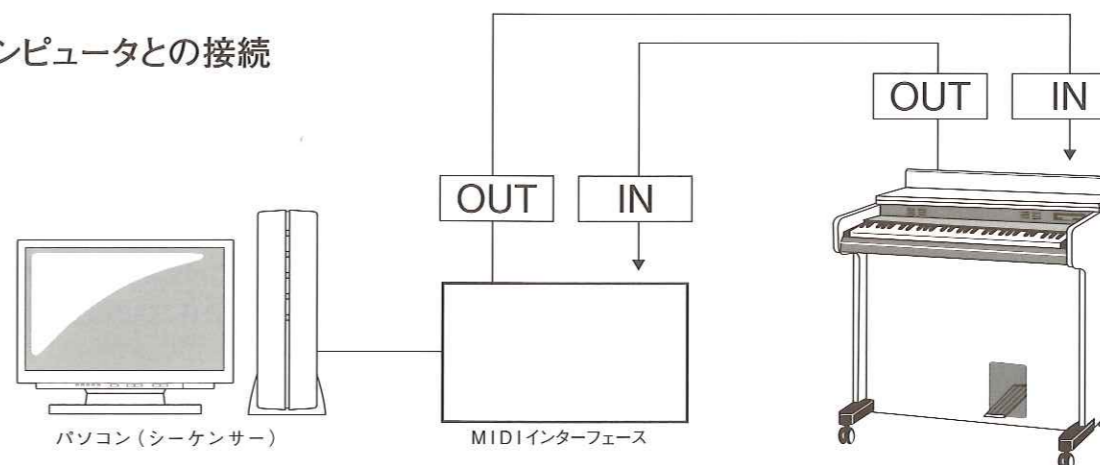
MIDIの使い方は簡単。楽器と楽器を専用のMIDIケーブルで接続するだけでさまざまな演奏が楽しめます。

基本的な接続のしかたは **OUT** → **IN** OUT端子とIN端子をつなげます。

シンセキーボードでSO-910 IIを鳴らしたい場合



コンピュータとの接続





## MIDIチャンネル

必要な情報だけを送ったり受けたりできるように、MIDIには1～16までのチャンネルがあります。これはテレビのチャンネルと同じようなもの。必要な情報を放送する局のチャンネルに合わせれば、その情報が得られます(スレーブ)。また逆に、チャンネルを指定してこちらが放送局になることもできます(マスター)。



## MIDIチャンネルの概念

SO-910 IIは18パートのマルチティンバー音源を採用しています。

これはMIDIチャンネルが1～16の16パートと右鍵盤専用パートと左鍵盤専用パートを持っているということです。

パート	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	右鍵盤	左鍵盤
MIDIチャンネル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	OFF	OFF

└─ドラムパート

例えば)

- ・右鍵盤MIDIチャンネルが1chの時、右鍵盤の演奏はパート1で発音されます。又、右鍵盤MIDIチャンネルがOFFの時、右鍵盤専用パートで発音されるのでMIDIにより入力された音色と同時に演奏することができます。
- ・GM曲データを正しく受信するためには、左鍵盤と右鍵盤のMIDIチャンネルをOFFに設定します。

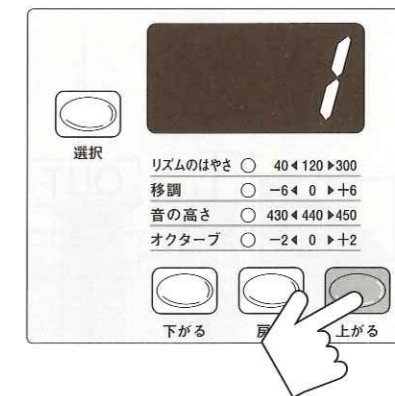
## MIDIチャンネルの設定

### 1. 右鍵盤チャンネルの設定

- ①『右鍵盤』スイッチを数秒間押しつづけるとメインディスプレイに右鍵盤のMIDIチャンネルが表示されます。この時『選択』の各ランプが消えます。
- ②『上がる』スイッチ、『下がる』スイッチでMIDIチャンネルの設定を行ないます。1～16ch、OFFの範囲で設定できます。『戻る』スイッチを押すと1chに戻ります。又、電源ON時も1chに設定されます。送信、受信ともに有効です。



『選択』スイッチ、『右鍵盤』スイッチ、『左鍵盤』スイッチのどれかを押すと元の表示に戻ります。



### 2. 左鍵盤チャンネルの設定

- ①『左鍵盤』スイッチを数秒間押しつづけるとメインディスプレイに左鍵盤のMIDIチャンネルが表示されます。この時『選択』スイッチの各ランプが消えます。
- ②『上がる』スイッチ、『下がる』スイッチでMIDIチャンネルの設定を行ないます。1～16ch、OFFの範囲で設定できます。『戻る』スイッチを押すと2chに戻ります。又電源ON時も2chに設定されます。送信、受信ともに有効です。



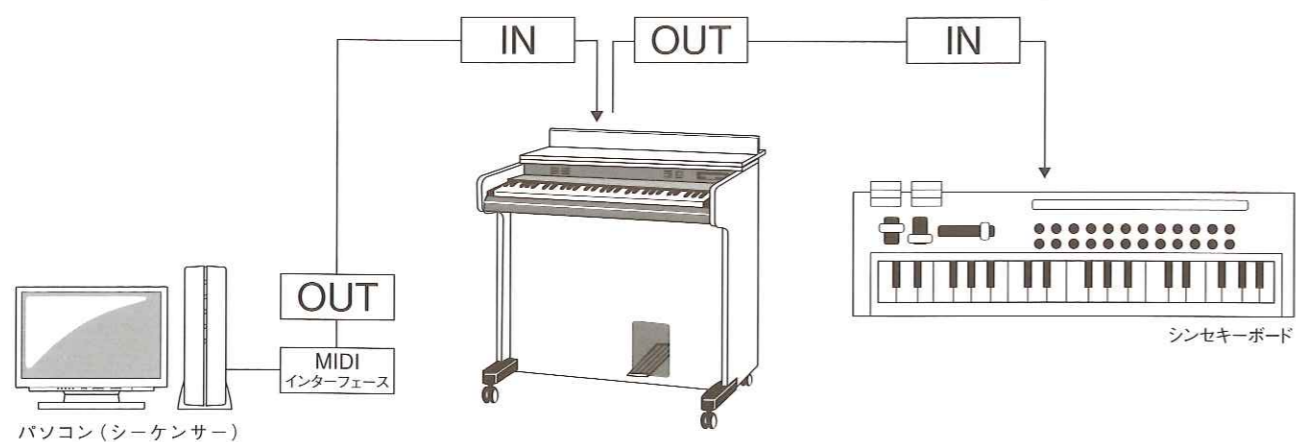
『選択』スイッチ、『右鍵盤』スイッチ、『左鍵盤』スイッチのどれかを押すと元の表示に戻ります。





## アンサンブル機能の設定

SO-910 II と他の電子機器を同時にパソコン（シーケンサー）で演奏させる時に便利な機能です。  
 具体的には、MIDI IN から入力された情報をそのまま MIDI OUT から送信させる機能です。（SO-910 II の鍵盤情報もマージして送信します。）



『右鍵盤』スイッチと『左鍵盤』スイッチを2秒以上押しつづけます。  
 そのとき、メインディスプレイに **on** が数秒間表示されます。  
**on** のとき、アンサンブル機能が有効となります。  
 もう一度『右鍵盤』スイッチと『左鍵盤』スイッチを2秒以上押しつづけると、  
 メインディスプレイに **off** が数秒間表示されます。  
**off** のとき、アンサンブル機能が無効になります。  
 （電源 **on** 時は **off** に設定されています。）



## 音色ポン機能（シーケンサー再生音色切換え機能）

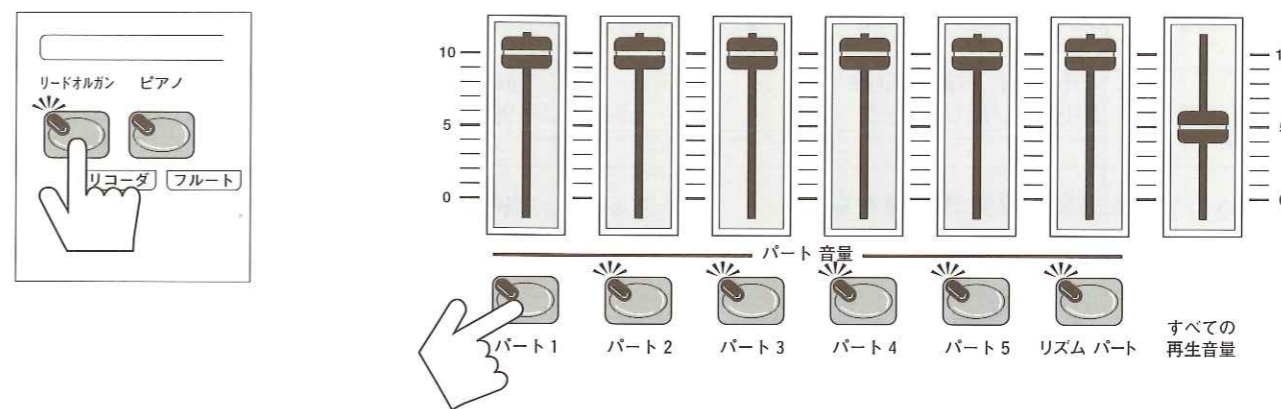
シーケンサーで曲を再生する時にワンタッチでいろいろな音色に切換えることができます。  
 例えば、メロディのパートをいろいろな楽器で聞き比べたり、伴奏のピアノをストリングスに切換えたりすることができます。

### 1. 曲を再生します。

ディスクを挿入し、選曲して「再生/停止」スイッチを押します。（P22参照）

### 2. 音色を切換えます。

音色を切換えたいパートスイッチを押しながら音色スイッチを押します。



### 注意

- リズムパートについては切換えできません。
- パート5については「パート5のチャンネル」で設定したチャンネルの音色を切換えます。
- 曲データ中に音色番号が入っていると再生した時に曲データの音色に切換わります。  
 （音色を切換えた後に曲を停止し、最初から再生を始めると曲データ中の音色に戻ります。）
- この時、鍵盤音色も同時に切換わります。
- 繰り返し機能中は、繰り返しに戻った時に曲データの音色に戻ります。



## ディスプレイに表示されるメッセージについて

メッセージが「シーケンサーディスプレイ」に表示されたときは、原因に応じて処置をおこなってください。

メッセージ	原因	処置
<b>noF</b> ノー・フォーマット	フォーマットされていないディスクがディスクユニットに入っています。	正しくフォーマットされたディスクをディスクユニットに入れてください。
	フォーマットの異なるディスクがディスクユニットに入っています。	正しくフォーマットしてください。
<b>Err</b> エラー	ディスクに異常があります。	他のディスクに換えてください。
	録音・再生ができません。	他のディスクに換えてください。
<b>Pro</b> プロテクト・オン	再生専用のディスク(市販のミュージックソフト)に録音しようとしています。	再生専用のディスクには録音できません。
	ライトプロテクトがかかっています。	ライトプロテクトを解除してください。 『録音』スイッチを押してください。
<b>FUL</b> フル	1曲のデータが容量をオーバーしました。	曲のデータを少なくして録音・再生してください。 本機では196キロバイト(約24000音)までの曲データが扱えます。
<b>dFL</b> ディスク・フル	データがディスクの容量をオーバーしました。	新しいフォーマット済ディスクと交換してください。
<b>nod</b> ノー・データ	ディスクドライブに入れられたディスクの中に曲データが存在しません。	曲があると曲番が表示されます。

## 故障とお考えになる前に

故障かな?と思ったら、もう一度下記の項目をご確認ください。それでも異常の場合、速やかに電源を切り、電源プラグをコンセントから外して、お買い上げの販売店または最寄りの営業所にお問い合わせください。

症状	原因	処置
音が出ない。	『すべての音量』が0の位置になっている。	『すべての音量』を5の前後に上げてください。
	エクスペリションペダルが踏み込まれていない。	踏み込んでください。
ときどき雑音が入る。	すぐ近くで電気機器を使用している。	離れたコンセントを使用してください。
テレビ、ラジオに雑音が入る。	すぐ近くで使用している。	できるだけ離して使用してください。
音がびびる。	近くに共鳴するものがある。	音量を小さくするか、共鳴しているものを離してください。
シーケンサーの音が出ない。	パート音量か再生音量が0の位置になっている。	10の位置に上げてください。
ディスクが読めない。	フロッピーディスクが正しく挿入されていない。	正しく挿入してください。
	フォーマットがちがう。 スタンダードMIDIファイルではないデータが書き込まれている。	正しくフォーマットしてください。 スタンダードMIDIファイルに変換してください。
録音できない。	フロッピーディスクが正しく挿入されていない。	正しく挿入してください。
	フォーマットがちがう。	正しくフォーマットしてください。
	ライトプロテクトがかかっている。	ライトプロテクトのツメを書き込み可にしてください。



**GM音色一覧表** (2):使用ボイス数2 (S):平均律ではない。(M):モジュレーションホイールによる効果がない。\*( )の数字はドローバーレジストレーションを示す。

**GM音色一覧表** (2):使用ボイス数2 (S):平均律ではない。(M):モジュレーションホイールによる効果がない。\*( )の数字はドローバーレジストレーションを示す。

プログラム番号	バージョン番号	音色名	効果
001	000	Acoustic Grand Piano	
	016	Dark Piano	
002	000	Bright Piano	
003	000	Electric Grand Piano	
004	000	Honkey-Tonk Piano	2
005	000	Electric Piano 1	
	001	Tremolo Electric Piano	2
	008	Detuned Electric Piano 1	2
	016	Electric Piano 1 Velocity	2
	024	60's Electric Piano	
006	000	Electric Piano 2	
	008	Detuned Electric Piano 2	2
	016	Electric Piano 2 Velocity	2
007	000	Harpichord	
	008	Coupled Harpichord	2
008	000	Clavi	
009	000	Celesta	
010	000	Glockenspiel	
	001	Glockenspiel X-66	
011	000	Music Box	
012	000	Vibraphone	
	001	Vibraphone 2	
013	000	Marimba	
014	000	Xylophone	
015	000	Tubular-Bell	
	001	Organ Chime	
	008	Church Bell	
	016	Carillon	
016	000	Dulcimer	
017	000	Drawbar Organ	
	001	*Drawbar1 (888000006)	
	002	*Drawbar2 (888800000)	
	003	*Drawbar3 (846310000)	
	004	*Drawbar4 (880080000)	
	005	*Drawbar5 (808800000)	
	006	*Drawbar6 (805300000)	
	007	*Drawbar7 (808000000)	
	008	Detuned Electric Organ 1	2
	009	*Drawbar8 (805000000)	
	010	*Drawbar9 (800800000)	
	011	*Drawbar10 (800080000)	
	012	*Drawbar11 (800080000)	
	013	*Drawbar12 (800000008)	
	014	*Drawbar13 (800000888)	
	015	*Drawbar14 (808000888)	
	016	60's Organ	
	017	*Drawbar15 (325050504)	
	018	*Drawbar16 (808080806)	
	019	*Drawbar17 (324836056)	
	020	*Drawbar18 (888000444)	
	021	*Drawbar19 (888884444)	
	022	*Drawbar20 (864212356)	
	023	*Drawbar21 (867856566)	
	024	*Drawbar22 (088060000)	
	025	*Drawbar23 (088880000)	
	026	*Drawbar24 (028000060)	
	027	*Drawbar25 (888888888)	
	028	*Drawbar26 (088800880)	
	029	*Drawbar27 (888000000)	
	030	*Drawbar28 (838000000)	
	032	Drawbar+60's Organ	2
018	000	Percussive Organ	M
	001	*Drawbar1p (888800006)	
	002	*Drawbar2p (888800000)	2
	008	Detuned Electric Organ	2
	032	Xylo Organ	2
	033	Novachord sus (Analog)	
	034	Novachord dcy (Analog)	
	035	Vox Humana (Analog)	
	036	Diapason (Analog)	
	037	Violin (Analog)	
	038	Cello (Analog)	
	039	Trumpet (Analog)	
	040	Horn (Analog)	
	041	Kinura (Analog)	
	042	Theater Organ 1 (Analog)	

プログラム番号	バージョン番号	音色名	効果
018	043	Theater Organ 2 (Analog)	
	044	Theater Organ 3 (Analog)	
	045	Bass Master	
019	000	Rock Organ	2 M
020	000	Church Organ 1	
	001	Positive Organ1	
	002	Positive Organ2	
	008	Church Organ 2	2
	016	Church Organ 3	2
	024	Diapason (Pipe)	
	025	Mixture III (Pipe)	
	026	Mixture IV (Pipe)	
	027	Gamba (Pipe)	
	028	Oboe (Pipe)	
	029	Trompette (Pipe)	
	030	Bourdon 1 (Pipe)	
	031	Bourdon 2 (Pipe)	
	032	Gamba Pedal (Pipe)	
	033	Fagott (Pipe)	
021	000	Reed Organ	
022	000	Accordion French	2
	008	Accordion Italian	2
023	000	Harmonica	
	001	Melodion	
024	000	Tango Accordion	
	001	Jazz Accordion	
025	000	Nylon-string Guitar	
	008	Ukulele	
026	000	Steel-string Guitar	
	008	12-strings Guitar	2
	009	Nylon+Steel Guitar	2
	016	Mandolin	
027	000	Jazz Guitar	
	008	Hawaiian Guitar	M
028	000	Clean Guitar	
	008	Chorus Guitar	2
029	000	Muted Guitar	
	001	Country Guitar	
	008	Funk Guitar	
030	000	Overdrive Guitar	
031	000	Distortion Guitar	
	008	Feedback Guitar	2
032	000	Guitar Harmonics	
	008	Guitar Feedback	
033	000	Acoustic Bass	2
034	000	Electric Bass	2
	001	Finger Bass	2
035	000	Picked Bass	
036	000	Fretless Bass	2
037	000	Slap Bass 1	2
038	000	Slap Bass 2	2
039	000	Synth Bass 1	
	001	Synth Bass 101	2
	008	Synth Bass 3	2
040	000	Synth Bass 2	2
	008	Synth Bass 4	2
	016	Rubber Bass	2
041	000	Violin	
	008	Slow Violin	
042	000	Viola	
043	000	Cello	
044	000	Contrabass	
045	000	Tremolo Strings	M
046	000	Pizzicato Strings	
047	000	Orchestral Harp	
	001	Organ Harp	
048	000	Timpani	
049	000	Strings	
	001	Dull Strings	
	002	Detuned Strings	2
	008	Orchestra	2
050	000	Slow Strings	
051	000	Synth Strings1	
	001	BBD Strings	
	002	Dull BBD Strings	
	008	Synth Strings3	2

プログラム番号	バージョン番号	音色名	効果
052	000	Synth Strings 2	2
053	000	Aah Choir	
	001	Church Choir	
	032	Slow Choir	
054	000	Doo Voice	
	001	Bop Voice	
055	000	Synth Voice	2
056	000	Orchestra Hit	
057	000	Trumpet 1	
	001	Trumpet 2	
	002	Slow Trumpet	
058	000	Trombone 1	
	001	Trombone 2	2
	002	Trombone 3	
059	000	Tuba	
060	000	Muted Trumpet	
061	000	French Horns	2
	001	Flugel Horn	
	008	French Horn Closed	
	009	French Horn Open	
062	000	Brass Section 1	
	001	Brass Fall Down	
	008	Brass Section 2	2
063	000	Synth Brass 1	2
	008	Synth Brass 3	2
	016	Analog Brass 1	2
064	000	Synth Brass 2	2
	008	Synth Brass 4	
	016	Analog Brass 2	2
065	000	Soprano Sax	
066	000	Alto Sax f	
	008	Alto Sax p	
067	000	Tenor Sax f	
	001	Overblown Sax	
	002	Tenor Sax Velocity	2
	008	Tenor Sax p	
068	000	Baritone Sax	
069	000	Oboe	
070	000	English Horn	
071	000	Bassoon	
072	000	Clarinet	
	001	Slow Clarinet	
073	000	Piccolo	
074	000	Flute 1	
	001	Flute 2	2
075	000	Recorder 1	
	001	Recorder 2	2
076	000	Pan Flute	
077	000	Bottle Blow	2
078	000	Shakuhachi	2
079	000	Whistle	
080	000	Ocarina	
081	000	Square Lead	2
	001	Square	
	008	Sine Wave	
082	000	Saw Lead	2
	001	Saw	
	002	Step 8	
	003	Step 4	
	008	Dr.Solo	2
083	000	Calliope Lead	2
084	000	Chiffer Lead	2
085	000	Charang Lead	2
086	000	Voice Lead	2
087	000	Fifth Lead	2
088	000	Bass & Lead	2
089	000	New Age Pad	2
090	000	Warm Pad	2
091	000	Polysynth Pad	2
092	000	Choir Pad	2
093	000	Bowed Pad	2
094	000	Metal Pad	2 M
095	000	Halo Pad	2
096	000	Sweep Pad	2 M
097	000	Ice Rain	2
098	000	Soundtrack	2 M

プログラム番号	バージョン番号	音色名	効果
099	000	Crystal	2
	001	Synth Mallet	
100	000	Atmosphere	2
101	000	Brightness	2
102	000	Goblin	2
103	000	Echo Drops	
	001	Echo Bell	2
	002	Echo Pan	2
104	000	Sci-Fi	2
105	000	Sitar 1	
	001	Sitar 2	2
106	000	Banjo	
107	000	Shamisen	
	001	Tsugaru Shamisen	2
108	000	Koto	
	008	Taisho Koto	2
109	000	Kalimba	
110	000	Bagpipe	
111	000	Fiddle	
112	000	Shanai	
113	000	Tinkle Bell	2
114	000	Agogo	
115	000	Steel Drum	
116	000	Woodblock	S
	008	Castanet	S
117	000	Taiko Drum	S
	001	Shime Taiko	S
	002	Gong	S
	008	Concert Bass Drum	S
118	000	Melodic Tom 1	S
	008	Melodic Tom 2	S
119	000	Synth Tom	S
	008	Analog Tom	S
120	000	Reverse Cymbal 1	2 S
	001	Reverse Cymbal 2	2 S
121	000	Guitar Fret Noise	
	001	Guitar Cutting Noise	S
	002	String Slap	S
122	000	Breath Noise	
	001	Flute Key Click	S
123	000	Seashore	2 S
	001	Rain	2 S
	002	Thunder	S
	003	Wind	S M
	004	Stream	2 S M
	005	Bubble	2 S
124	000	Bird Tweet 1	2 S
	001	Dog	S
	002	Horse Gallop	S
	003	Bird Tweet 2	S M
125	000	Telephone Ring 1	S
	001	Telephone Ring 2	S
	002	Door Creaking	S
	003	Door Slam	S
	004	Scratch	S
	005	Wind Chime	2 S
126	000	Helicopter	S
	001	Car Engine	S
	002	Car Stop	S
	003	Car Pass	S
	004	Car Crash	2 S
	005	Siren	S
	006	Train / SL	S
	007	Jet Plane	2 S M
	008	Star Ship	2 S M
	009	Burst Noise	2 S M
127	000	Applause	2 S
	001	Laughing	S
	002	Scream	S
	003	Punch	S
	004	Heart Beat	S
	005	Foot Step	S
128	000	Gun Shot	S
	001	Machine Gun	S
	002	Laser Gun	S
	003	Explosion	2 S



ドラム・セット一覧表

空白:STANDARD Setの打楽器音と同じ PC#:プログラムナンバー(ドラムセット番号) .....音は鳴らない  
 [EXC]:同じ番号の打楽器音は同時に鳴らない (2):使用ボイス数が2の打楽器音(その他の打楽器音は、すべて使用ボイス数が1です)

ノート・ナンバー	番号	音名	1 PC#001: STANDARD Set	2 PC#009: ROOM Set	3 PC#017: POWER Set	4 PC#025: ELECTRONIC Set
	24	1C	Tabla Te			
	25	1C#	Tabla Tun			
	26	1D	Tabla Ge			
	27	1D#	High Q			
	28	1E	Slap			
	29	1F	Scratch Push			
	30	1F#	Scratch Pull			
	31	1G	Sticks			
	32	1G#	Square Click			
	33	1A	Metronome Click			
	34	1A#	Metronome Bell			
	35	1B	Kick Drum 2			
	36	2C	Kick Drum 1		MONDO Kick	Elec BD
	37	2C#	Side Stick			
	38	2D	Snare Drum 1		Gated SD	Elec SD
	39	2D#	Hand Clap			
	40	2E	Snare Drum 2			Gated SD
	41	2F	Low Tom 2	Room Low Tom 2	Room Low Tom 2	Elec Low Tom 2
	42	2F#	Closed Hi-hat [EXC1]			
	43	2G	Low Tom 1	Room Low Tom 1	Room Low Tom 1	Elec Low Tom 1
	44	2G#	Pedal Hi-hat [EXC1]			
	45	2A	Mid Tom 2	Room Mid Tom 2	Room Mid Tom 2	Elec Mid Tom 2
	46	2A#	Open Hi-hat [EXC1]			
	47	2B	Mid Tom 1	Room Mid Tom 1	Room Mid Tom 1	Elec Mid Tom 1
	48	3C	High Tom 2	Room High Tom 2	Room High Tom 2	Elec High Tom 2
	49	3C#	Crash Cymbal 1			
	50	3D	High Tom 1	Room High Tom 1	Room High Tom 1	Elec High Tom 1
	51	3D#	Ride Cymbal 1			
	52	3E	Chinese Cymbal			Revs. Cymbal(2)
	53	3F	Ride Bell			
	54	3F#	Tambourine			
	55	3G	Splash Cymbal			
	56	3G#	Cowbell			
	57	3A	Crash Cymbal 2			
	58	3A#	Vibra-slap			
	59	3B	Ride Cymbal 2			
	60	4C	High Bongo			
	61	4C#	Low Bongo			
	62	4D	Mute High Conga			
	63	4D#	Open High Conga			
	64	4E	Low Conga			
	65	4F	High Timbale			
	66	4F#	Low Timbale			
	67	4G	High Agogo			
	68	4G#	Low Agogo			
	69	4A	Cabasa			
	70	4A#	Maracas			
	71	4B	Short Hi Whistle [EXC2]			
	72	5C	Long Low Whistle [EXC2]			
	73	5C#	Short Guiro [EXC3]			
	74	5D	Long Guiro [EXC3]			
	75	5D#	Claves			
	76	5E	High Wood Block			
	77	5F	Low Wood Block			
	78	5F#	Mute Cuica [EXC4]			
	79	5G	Open Cuica [EXC4]			
	80	5G#	Mute Triangle [EXC5]			
	81	5A	Open Triangle [EXC5]			
	82	5A#	Shaker			
	83	5B	Jingle Bell			
	84	6C	Bell Tree			
	85	6C#	Castanets			
	86	6D	Mute Surdo [EXC6]			
	87	6D#	Open Surdo [EXC6]			
	88	6E			.....	
	89	6F			.....	
	90	6F#			.....	
	91	6G	Suzu		.....	
	92	6G#	Finger Snap			
	93	6A	Snare Drum Roll			
	94	6A#	Konchiki (Kon)		.....	
	95	6B	Konchiki (Chiki)		.....	
	96	7C	Konchiki (Kosuri)		.....	
	97	7C#	Taiko		.....	
	98	7D	Taiko Rim		.....	
	99	7D#	Shime Taiko		.....	
	100	7E	Tsuzumi		.....	
	101	7F	Rain		.....	
	102	7F#	Seashore		.....	
	103	7G	SL Pass		.....	
	104	7G#	SL Whistle		.....	
	105	7A	Dora		.....	

ドラム・セット一覧表

空白:STANDARD Setの打楽器音と同じ PC#:プログラムナンバー(ドラムセット番号) .....音は鳴らない  
 [EXC]:同じ番号の打楽器音は同時に鳴らない (2):使用ボイス数が2の打楽器音(その他の打楽器音は、すべて使用ボイス数が1です)

ノート・ナンバー	番号	音名	5 PC#026: ANALOG Set	6 PC#033: JAZZ Set	7 PC#041: BRUSH Set	8 PC#049: ORCHESTRA Set	9 PC#057: SFX Set
	24	1C					.....
	25	1C#					.....
	26	1D					.....
	27	1D#					.....
	28	1E					Closed Hi-hat [EXC1]
	29	1F					Pedal Hi-hat [EXC1]
	30	1F#					Open Hi-hat [EXC1]
	31	1G					Ride Cymbal
	32	1G#					.....
	33	1A					.....
	34	1A#					.....
	35	1B		Jazz BD 2	Jazz BD 2	Concert BD 2	.....
	36	2C	Analog BD	Jazz BD 1	Jazz BD 1	Concert BD 1	.....
	37	2C#	Analog Rim Shot				.....
	38	2D	Analog SD 1	Jazz SD 1	Brush Tap	Concert SD	.....
	39	2D#			Brush Slap	Castanets	High Q
	40	2E	Analog SD 2	Jazz SD 2	Brush Swirl	Concert SD	Slap
	41	2F	Analog Low Tom 2		Br. Low Tom 2	Timpani F	Scratch Push [EXC7]
	42	2F#	Analog CHH [EXC1]			Timpani F#	Scratch Pull [EXC7]
	43	2G	Analog Low Tom 1		Br. Low Tom 1	Timpani G	Sticks
	44	2G#	Analog CHH [EXC1]			Timpani G#	Square Click
	45	2A	Analog Mid Tom 2		Br. Mid Tom 2	Timpani A	Metronome Click
	46	2A#	Analog OHH [EXC1]			Timpani A#	Metronome Bell
	47	2B	Analog Mid Tom 1		Br. Mid Tom 1	Timpani B	Guitar sliding finger
	48	3C	Analog High Tom 2		Br. High Tom 2	Timpani c	Guitar cutting noise (down)
	49	3C#	Analog Cymbal			Timpani c#	Guitar cutting noise (up)
	50	3D	Analog High Tom 1		Br. High Tom 1	Timpani d	String slap of double bass
	51	3D#				Timpani d#	Fl. Key Click
	52	3E				Timpani e	Laughing
	53	3F				Timpani f	Screaming
	54	3F#					Punch
	55	3G					Heart Beat
	56	3G#	Analog Cowbell				Footsteps 1
	57	3A				Concert Cymbal 2	Footsteps 2
	58	3A#					Applause (2)
	59	3B				Concert Cymbal 1	Door Creaking
	60	4C					Door
	61	4C#					Scratch
	62	4D	Analog Hi Conga				Windchime (2)
	63	4D#	Analog Mid Conga				Car-Engine
	64	4E	Analog Low Conga				Car-Stop
	65	4F					Car-Pass
	66	4F#					Car-Crash (2)
	67	4G					Siren
	68	4G#					Train
	69	4A					Jetplane (2)
	70	4A#	Analog Maracas				Helicopter
	71	4B					Starship (2)
	72	5C					Gun Shot
	73	5C#					Machine Gun
	74	5D					Lasergun
	75	5D#	Analog Claves				Explosion (2)
	76	5E					Dog
	77	5F					Horse-Gallop
	78	5F#					Birds (2)
	79	5G					Rain (2)
	80	5G#					Thunder
	81	5A					Wind
	82	5A#					Seashore (2)
	83	5B					Stream (2)
	84	6C					Bubble (2)
	85	6C#					.....
	86	6D					One
	87	6D#					.....
	88	6E				Applause (2)	Two
	89	6F					Three
	90	6F#					.....
	91	6G					Hit It
	92	6G#					.....
	93	6A					.....
	94	6A#					.....
	95	6B					.....
	96	7C					.....
	97	7C#					.....
	98	7D					.....
	99	7D#					.....
	100	7E					.....
	101	7F					.....
	102	7F#					.....
	103	7G					.....
	104	7G#					.....
	105	7A					.....



# SO-910II カスタム ボイス 音色番号対応表

ピアノ		ハモンド オルガン		パイプオルガン		ギター		オーケストラ	
1	アコースティックグランドピアノ	30	ドローパー オルガン	68	チャーチ オルガン 1	102	ナイロンストリングギター	134	バイオリン
2	ブライトピアノ	31	パーカッション オルガン	69	チャーチ オルガン 2	103	スチールストリングギター	135	スロー バイオリン
3	エレキグランドピアノ	32	ロック オルガン	70	チャーチ オルガン 3	104	ジャズギター	136	ピオーラ
4	エレキグランドピアノ 1	33	デチューンド オルガン 1	71	ポジティブ オルガン 1	105	ハワイアンギター	137	チェロ
5	エレキグランドピアノ 2	34	デチューンド オルガン 2	72	ポジティブ オルガン 2	106	クリーンギター	138	コントラバス
6	60's エレキグランドピアノ	35	60's オルガン	73	オーボエ	107	ミュートギター	139	オーケストラハーブ
7	ダークピアノ	36	ドローパー+60's オルガン	74	ブルドン 1	108	ナイロン+スチールギター	140	オルガンハーブ
8	ホンキートンクピアノ	37	ドローパー 1p	75	ブルドン 2	109	12弦ギター	141	ティンパニ
9	デチューンドエレキグランドピアノ1	38	ドローパー 2p	76	ダイアパーソン	110	カントリーギター	142	オーケストラヒット
10	デチューンドエレキグランドピアノ2	39	シロフォン オルガン	77	ガンバ	111	ウクレレ	143	トレモロストリングス
11	トレモロエレキグランドピアノ	40	ドローパー 1 (888000006)	78	ミクスチャー III	112	コーラスギター	144	ピチカートストリングス
12	エレキグランドピアノ 1 ペロシティ	41	ドローパー 2 (888800000)	79	ミクスチャー IV	113	ファンクギター	145	ストリングス
13	エレキグランドピアノ 2 ペロシティ	42	ドローパー 3 (846310000)	80	トロムベツテ	114	オーバードライブギター	146	ダル ストリングス
クロマチックパーカッション		43	ドローパー 4 (880080000)	81	ガンバペダル	115	ディストーションギター	147	デチューンドストリングス
14	ハーブシコード	44	ドローパー 5 (808800000)	82	ファゴット	116	ギターハーモニクス	148	オーケストラ
15	クラビ	45	ドローパー 6 (805300000)	アナログオルガン		117	フィードバックギター	149	スロー ストリングス
16	チェレスタ	46	ドローパー 7 (808000000)	83	ノバコード サスティン	118	ギターフィードバック	150	シンセ ストリングス 1
17	グロッケン	47	ドローパー 8 (805000000)	84	ノバコード ティケイ	119	マンドリン	151	シンセ ストリングス 2
18	ビブラフォン 1	48	ドローパー 9 (800800000)	85	ダイアパーソン	ベース		152	シンセ ストリングス 3
19	ビブラフォン 2	49	ドローパー 10 (800080000)	86	トランベツト	120	アコースティックベース	153	BBD ストリングス
20	マリンバ	50	ドローパー 11 (800008000)	87	バイオリン	121	エレキベース	154	ダル BBD ストリングス
21	カップドラムハーブシコード	51	ドローパー 12 (800000008)	88	シスター オルガン 1	122	フィンガーベース	クワイヤー	
22	ミュージックボックス	52	ドローパー 13 (800000888)	89	シスター オルガン 2	123	ピックベース	155	アー クワイヤー
23	グロッケン X-66	53	ドローパー 14 (808000888)	90	シスター オルガン 3	124	フレットレスベース	156	スロー クワイヤー
24	シロフォン	54	ドローパー 15 (325050504)	91	キヌラ	125	スラップベース 1	157	ドゥー ボイス
25	ダルシマー	55	ドローパー 16 (808080806)	92	ホルン	126	スラップベース 2	158	パップ ボイス
26	チューブラーベル	56	ドローパー 17 (324836056)	93	チェロ	127	シンセベース 1	159	チャーチ クワイヤー
27	チャーチベル	57	ドローパー 18 (888000444)	94	ボックス ヒューマナ	128	シンセベース 2	160	シンセ ボイス
28	オルガンチャイム	58	ドローパー 19 (888844444)	アコーディオン・金属リード		129	シンセベース 3		
29	カリヨン	59	ドローパー 20 (864212356)	95	アコーディオン フレンチ	130	シンセベース 4		
		60	ドローパー 21 (867856566)	96	タンゴアコーディオン	131	シンセベース 101		
		61	ドローパー 22 (088060000)	97	アコーディオン イタリアン	132	ラバー ベース		
		62	ドローパー 23 (088880000)	98	ジャズアコーディオン	133	バスマスター		
		63	ドローパー 24 (028000060)	99	リードオルガン				
		64	ドローパー 25 (888888888)	100	ハーモニカ				
		65	ドローパー 26 (888800880)	101	メロディオン				
		66	ドローパー 27 (888000000)						
		67	ドローパー 28 (838000000)						

金管楽器		木管 (パイプ)		シンセパッド		打楽器		効果音	
161	トランペット 1	195	ピッコロ	219	ニューエイジパッド	250	アゴゴ	269	波の音
162	トランペット 2	196	フルート 1	220	ウオームパッド	251	スチールドラム	270	雨
163	スロートランペット	197	フルート 2	221	ポリシンセパッド	252	ウッドブロック	271	雷
164	トロンボーン 1	198	リコーダー 1	222	クワイヤーパッド	253	カスタネット	272	風
165	トロンボーン 2	199	リコーダー 2	223	ボードパッド	254	太鼓	273	川のせせらぎ
166	トロンボーン 3	200	バンフルート	224	メタルパッド	255	繪太鼓	274	泡の音
167	チューバ	201	ボトルブロー	225	ハローパッド	256	ゴング	275	鳥のさえずり 1
168	ミュートトランペット	202	尺八	226	スウィープパッド	257	コンサートバスドラム	276	犬の声
169	フレンチホルン	203	ホイッスル	227	アイスレイン	258	メロディックタム 1	277	馬の駆け足
170	フレンチホルンオープン	204	オカリナ	228	サウンドトラック	259	メロディックタム 2	278	鳥のさえずり 2
171	フレンチホルンクローズ	シンセリード		シンセ SFX		260	シンセタム	279	電話 1
172	フリューゲルホルン	205	スクエアリード	229	クリスタル	261	アナログタム	280	電話 2
173	ブラスセクション 1	206	矩形波 (くけいは)	230	シンセマレット	262	リバーズシンバル 1	281	ドアがきしむ音
174	ブラスセクション 2	207	正弦波 (せいげんは)	231	アトモスフィア	263	リバーズシンバル 2	282	ドアが閉まる音
175	シンセブラス 1	208	ソーリード	232	ブライトネス	264	ギターフレットノイズ	283	ターンテーブルの停止音
176	シンセブラス 2	209	のこぎり波	233	ゴブリン	265	ギターカッティングノイズ	284	ウインドチャイム
177	シンセブラス 3	210	階段波 (8段)	234	エコードロップス	266	ストリングスラップ	285	ヘリコプター
178	シンセブラス 4	211	階段波 (4段)	235	エコーベル	267	プレスノイズ	286	車のエンジン音
179	アナログブラス 1	212	ドクターソロ	236	エコーパン	268	フルートキー クリック	287	車の停止音
180	アナログブラス 2	213	カリオペリード	237	サイエンスフィクション			288	車の通過音
181	ブラスフォールダウン	214	チファアリード	エスニック				289	車のクラッシュ音
木管 (リード)		215	チャラングリード	238	シター 1			290	サイレン
182	ソプラノサクソフ	216	ボイスリード	239	シター 2			291	列車/SL
183	アルトサクソフ	217	フィフスリード	240	バンジョー			292	ジェット機
184	アルトサクソフ p	218	ベース&リード	241	三味線			293	宇宙船
185	テナーサクソフ			242	津軽三味線			294	故障音
186	オーバードライブサクソフ			243	箏 (こと)			295	拍手
187	テナーサクソフペロシティ			244	大正琴			296	笑い声
188	テナーサクソフ p			245	カリンバ			297	悲鳴
189	バリトンサクソフ			246	バグパイプ			298	パンチ
190	オーボエ			247	フィドル			299	鼓動
191	イングリッシュホルン			248	シャナイ			300	足音
192	バスーン			249	ティンクルベル			301	銃声
193	クラリネット							302	機関銃
194	スロークラリネット							303	レーザー銃
								304	爆発音

# MIDIインフォメーション

## チャンネル・ボイス・メッセージ

●ノート・オフ  
 ステータス 第2バイト 第3バイト  
 8nH kkH vvH  
 9nH kkH 00H  
 n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
 kk=ノート・ナンバー :00H-7FH(0~127)  
 vv=ペロシティ :00H-7FH(0~127)

●ノート・オン  
 ステータス 第2バイト 第3バイト  
 9nH kkH 00H  
 n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
 kk=ノート・ナンバー :00H-7FH(0~127)  
 vv=ペロシティ :00H-7FH(0~127)

●コントロール・チェンジ  
 \*コントロール・チェンジで設定されたバリューは、プログラム・チェンジ等を受信してもリセットされません。

○モジュレーション  
 ステータス 第2バイト 第3バイト  
 BnH 01H vvH  
 n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
 vv=モジュレーション・デプス :00H-7FH(0~127)  
 \*音色によってピッチ・モジュレーションがきかないものがあります。

○データ・エントリー  
 ステータス 第2バイト 第3バイト  
 BnH 06H mmH(MSB)  
 BnH 26H 11H(LSB)  
 n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
 mm, 11=RPN/NRPNで指定されたパラメータに対するバリュー。

○ボリューム  
 ステータス 第2バイト 第3バイト  
 BnH 07H vvH  
 n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
 vv=ボリューム :00H-7FH(0~127)  
 初期設定値=64H(100)

\*受信したメッセージのMIDIチャンネルに対応するパートの音量を調節します。  
 ボリューム・メッセージは、各パートの音量バランスを設定するのに使用します。

○パンポット  
 ステータス 第2バイト 第3バイト  
 BnH 0AH vvH  
 n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
 vv=パンポット :00H-40H-7FH(0~64~127)  
 \*0が左、64が中央、127が右で、その間を127段階で調節できます。

○エクスプレッション  
 ステータス 第2バイト 第3バイト  
 BnH 0BH vvH  
 n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
 vv=エクスプレッション :00H-7FH(0~127)

\*受信したメッセージのMIDIチャンネルに対応するパートの音量を調節できます。  
 ボリューム・メッセージとは独立して使用できます。  
 エクスプレッション・メッセージは、エクスプレッション・ペダル、クレッシェンド、デクレッシェンドなど、演奏中の抑揚表現に使用します。

○ホールド1(ダンパー)  
 ステータス 第2バイト 第3バイト  
 BnH 40H vvH  
 n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
 vv=コントロール・バリュー :00H-7FH(0~64~127)0~63=OFF  
 64~127=ON

○レゾナンス  
 ステータス 第2バイト 第3バイト  
 BnH 47H vvH  
 n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
 vv=コントロール・バリュー :00H-40H-7FH(-64~0~+63)  
 \*このコントロールチェンジはNRPNとエクスクルーシブと共通です。

○リリースレイト  
 ステータス 第2バイト 第3バイト  
 BnH 48H vvH  
 n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
 vv=コントロール・バリュー :00H-40H-7FH(-64~0~+63)  
 \*このコントロールチェンジはNRPNとエクスクルーシブと共通です。

○アタックレイト  
 ステータス 第2バイト 第3バイト  
 BnH 49H vvH  
 n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
 vv=コントロール・バリュー :00H-40H-7FH(-64~0~+63)  
 \*このコントロールチェンジはNRPNとエクスクルーシブと共通です。

○カットオフフリケンシー  
 ステータス 第2バイト 第3バイト  
 BnH 4AH vvH  
 n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
 vv=コントロール・バリュー :00H-40H-7FH(-64~0~+63)  
 \*このコントロールチェンジはNRPNとエクスクルーシブと共通です。

○ビブラートスイッチ  
 ステータス 第2バイト 第3バイト  
 BnH 50H vvH  
 n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
 vv=コントロール・バリュー :00,01,02-06H(OFF,3,1~5)



### ○サステインスイッチ

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	51H	vvH

n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
vv=コントロール・バリュウ :00,01,02-06H(OFF,3,1~5)

### ○コーラススイッチ

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	52H	vvH

n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
vv=コントロール・バリュウ :00,01,02-06H(OFF,3,1~5)

### ○汎用エフェクト1(リバーブ・センド・レベル)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	5BH	vvH

n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
vv=コントロール・バリュウ :00H-7FH(0~127)  
初期設定値=28H(40)

\*受信したメッセージのMIDIチャンネルに対応するパートのリバーブ・センド・レベルを調節できます。

### ○汎用エフェクト3(コーラス・センド・レベル)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	5DH	vvH

n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
vv=コントロール・バリュウ :00H-7FH(0~127)  
初期設定値=00H(0)

\*受信したメッセージのMIDIチャンネルに対応するパートのコーラス・センド・レベルを調節できます。

### ○汎用エフェクト4(ディレイ・センド・レベル)

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	5EH	vvH

n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
vv=コントロール・バリュウ :00H-7FH(0~127)  
初期設定値=00H(0)

### ○NRPN MSB/LSB

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	63H	mmH(MSB)
BnH	62H	11H(LSB)

n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
mm=NRPNで指定するパラメータ・ナンバーの上位バイト(MSB)  
11=NRPNで指定するパラメータ・ナンバーの下位バイト(LSB)  
\*NRPNで設定されたバリュウは、プログラム・チェンジやリセット・オール・コントローラーなどを受信してもリセットされません。

### ○RPN MSB/LSB

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	65H	mmH(MSB)
BnH	64H	11H(LSB)

n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
mm=RPNで指定するパラメータ・ナンバーの上位バイト(MSB)  
11=RPNで指定するパラメータ・ナンバーの下位バイト(LSB)  
\*RPNで設定されたバリュウは、プログラム・チェンジやリセット・オール・コントローラーなどを受信してもリセットされません。

### ●プログラム・チェンジ

ステータス	第2バイト
CnH	ppH

n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
pp=プログラム・ナンバー :00H-7FH(prog.1~prog.128)  
\*プログラム・チェンジ受信後の新たなノート・オンから音色が変わります。  
プログラム・チェンジ受信時以前からすでに発音中のボイスは影響を受けません。

### ●ピッチ・ベンド・チェンジ

ステータス	第2バイト	第3バイト
EnH	11H	mmH

n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
mm, 11=ピッチ・ベント・バリュウ:00 00H-40 00H-7F 7FH (-8192-0+8191)

## ■チャンネル・モード・メッセージ

### ●オール・サウンド・オフ

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	78H	00H

n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
\*このメッセージを受信すると、該当チャンネルの発音中の音を全て消します。  
但し、チャンネル・メッセージの状態は変化しません。

### ●リセット・オール・コントローラー

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	79H	00H

n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
\*このメッセージを受信すると、以下のコントローラーの設定値が変化します。

コントローラー	設定値
ピッチ・ベント・チェンジ	±0(中点)
ホールド1	0(オフ)
モジュレーション	0(オフ)
エクスプレッション	127(最大)
RPN	未設定状態、設定済みのデータは変化しません。
NRPN	未設定状態、設定済みのデータは変化しません。

### ●オール・ノート・オフ

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	7BH	00H

n=MIDIチャンネル・ナンバー:0H-FH(ch.1~ch.16)  
\*オール・ノート・オフを受信すると、該当チャンネルのオンになっているノートを全てオフします。但し、ホールド1がオンの場合は、それらがオフになるまで発音は終了しません。

## ■システム・エクスクルーシブ・メッセージ

ステータス	データバイト	ステータス
F0H	iiH, ddH, ..., eeH	F7H

F0H :システム・エクスクルーシブ・メッセージのステータス  
ii=IDナンバー :どのメーカーのエクスクルーシブ・メッセージであるかの識別をするためのIDナンバー(マニファクチュアID)です。スズキのマニファクチュアIDは55Hです。7EHと7FHのIDナンバーは、ユニバーサル・ノンリアルタイム・メッセージ(7EH)、ユニバーサル・リアルタイム・メッセージ(7FH)としてMIDI規格の拡張として使用されます。  
dd, ..., ee=データ:00H-7FH(0~127)  
F7H :EOX(エンド・オブ・エクスクルーシブ)本器が受信するシステム・エクスクルーシブ・メッセージには、モード設定に関するメッセージ・ユニバーサル・リアルタイム・システム・エクスクルーシブ・メッセージ、データ・セット(DT1)があります。

### ●モード設定に関するシステム・エクスクルーシブ・メッセージ

機器をフル・パラメータやジェネラルMIDI(GM)のモードに初期化する場合に使用するメッセージです。「フル・パラメータ・リセット」はスズキのエクスクルーシブ・フォーマット「データ・セット1(DT1)」、「GMシステム・オン」はユニバーサル・ノンリアルタイム・メッセージのフォーマットを使用しています。

### ○フル・パラメータ・リセット

ステータス	データバイト	ステータス
F0H	55H, 10H, 42H, 12H, 40H, 00H, 7FH, 00H, 41H	F7H

バイト 解説  
F0H :エクスクルーシブ・ステータス  
55H :ID ナンバー(スズキ)  
10H :デバイスID  
42H :モデルID  
12H :コマンドID(DT1)  
40H :アドレスMSB  
00H :アドレス  
7FH :アドレスLSB  
00H :データ(フル・パラメータ・リセット)  
41H :チェックサム  
F7H :EOX(エンド・オブ・エクスクルーシブ)

\*このメッセージを受信すると、フル・パラメータの初期状態にリセットされ、フル・パラメータ用の曲のデータなどを正しく受信する状態になります。

\*このメッセージの実行には約50msかかります。次のメッセージとの間隔を取ってください。

\*MIDI INからの情報で、曲データを正しく受信させたい場合は、鍵盤のチャンネルをOFFにしてください。

## ○GMシステム・オン

ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	7EH, 7FH, 09H, 01H	F7H

バイト 解説  
F0H :エクスクルーシブ・ステータス  
7EH :ID ナンバー(ユニバーサル・ノンリアルタイム・メッセージ)  
7FH :デバイスID(Broadcast)  
09H :サブID #1(General MIDI Message)  
01H :サブID #2(General MIDI On)  
F7H :EOX(エンド・オブ・エクスクルーシブ)  
\*このメッセージを受信すると、GMの初期状態(General MIDI Performance-Level1)にリセットし、GMスコア(Level1)を正しく受信する状態になります。  
\*このメッセージの実行には約50msかかります。次のメッセージとの間隔を取ってください。  
\*MIDI INからの情報で、曲データを正しく受信させたい場合は、鍵盤のチャンネルをOFFにしてください。

## ●ユニバーサル・リアルタイム・システム・エクスクルーシブ・メッセージ

### ○マスター・ボリューム

ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	7FH, 7FH, 04H, 01H, llH, mmH	F7H

バイト 解説  
F0H :エクスクルーシブ・ステータス  
7FH :ID ナンバー(ユニバーサル・リアルタイム・メッセージ)  
7FH :デバイスID(Broadcast)  
04H :サブID #1(DeviceControlMessage)  
01H :サブID #2(MasterVolume)  
llH :マスター・ボリュームの下位バイト  
mmH :マスター・ボリュームの上位バイト  
F7H :EOX(エンド・オブ・エクスクルーシブ)  
\*マスター・ボリュームの下位バイト(llH)は、00Hとして処理します。

### ○マスター・パン

ステータス	データ・バイト	ステータス
F0H	7FH, 7FH, 04H, 02H, llH, mmH	F7H

バイト 解説  
F0H :エクスクルーシブ・ステータス  
7FH :ID ナンバー(ユニバーサル・リアルタイム・メッセージ)  
7FH :デバイスID(Broadcast)  
04H :サブID #1(DeviceControlMessage)  
02H :サブID #2(MasterPan)  
llH :マスター・パンの下位バイト  
mmH :マスター・パンの上位バイト  
F7H :EOX(エンド・オブ・エクスクルーシブ)  
\*マスター・パンの下位バイト(llH)は、00Hとして処理します。



## ■NRPNについて

コントロール・チェンジには、NRPN(ノン・レジスタード・パラメータ・ナンバー)つまりMIDI規格では機能を定義せず、機器固有の機能を設定している拡張領域が用意されています。

実際の使用にあたっては、まずNRPN MSBとNRPN LSBを与えて制御するパラメータを指定し、その後データ・エンタリーで指定パラメータのバリューを設定します。一旦、NRPNのパラメータが指定されると、その後同一チャンネルで受信するデータ・エンタリーは全てそのパラメータのバリュー変更とみなされます。誤動作を防止するために、必要なパラメータ・バリューを設定し終わったら、RPNヌル(RPN=7FH/7FH)を設定することをお勧めします。

本器では、NRPNの使用によって、音色のパラメータ等を変化させることができます。

NRPN	Data entry		機能とレンジ
MSB	LSB	MSB	
01H	08H	mmH	ビブラート・レイ(相対変化) mm:00H-40H-7FH(-64.0+63)
01H	09H	mmH	ビブラート・デプス(相対変化) mm:00H-40H-7FH(-64.0+63)
01H	0AH	mmH	ビブラート・デレイ(相対変化) mm:00H-40H-7FH(-64.0+63)
01H	20H	mmH	カットオフ・フリケンシー(相対変化) mm:00H-40H-7FH(-64.0+63)
01H	21H	mmH	レゾナンス(相対変化) mm:00H-40H-7FH(-64.0+63)
01H	63H	mmH	エンベロープ・アタック・タイム(相対変化) mm:00H-40H-7FH(-64.0+63)
01H	64H	mmH	エンベロープ・ディケイ・タイム(相対変化) mm:00H-40H-7FH(-64.0+63)
01H	66H	mmH	エンベロープ・リリース・タイム(相対変化) mm:00H-40H-7FH(-64.0+63)
18H	rrH	mmH	ドラム・インストール・ピッチ・コース(相対変化) rr:ドラム・インストールのノート・ナンバー mm:00H-40H-7FH(-64.0+63)
1AH	rrH	mmH	ドラム・インストール・レベル(絶対変化) rr:ドラム・インストールのノート・ナンバー mm:00H-7FH(0~最大)
1CH	rrH	mmH	ドラム・インストール・パン(絶対変化) rr:ドラム・インストールのノート・ナンバー mm:00H-40H-7FH(L-C-R)
1DH	rrH	mmH	ドラム・インストール・リバーブ・センド・レベル(絶対変化) rr:ドラム・インストールのノート・ナンバー mm:00H-7FH(0~最大)
1EH	rrH	mmH	ドラム・インストール・コーラス・センド・レベル(絶対変化) rr:ドラム・インストールのノート・ナンバー mm:00H-7FH(0~最大)
1FH	rrH	mmH	ドラム・インストール・デレイ・センド・レベル rr:ドラム・インストールのノート・ナンバー mm:00H-7FH(0~最大)

\*データ・エンタリーのLSB(ℓH)は無視します。

\*相対変化のパラメータは、プリセットされているバリューを基準(40H)として相対的に変化します。

\*絶対変化のパラメータは、プリセットされているバリューに関わらず、パラメータ絶対値をバリューで設定します。

## ■RPNについて

コントロール・チェンジには、RPN(レジスタード・パラメータ・ナンバー)すなわちMIDI規格で機能が定義されている拡張領域が用意されています。

実際の使用にあたっては、まずRPN MSBとRPN LSBを与えて制御するパラメータを指定し、その後、データ・エンタリーで指定パラメータのバリューを設定します。

一旦、RPNのパラメータが指定されると、その後、同一チャンネルで受信するデータ・エンタリーは、全てそのパラメータのバリュー変更とみなされます。誤動作を防止するために、必要なパラメータ・バリューを設定し終わったら、RPNヌルを設定することをお勧めします。

本器が受信するRPNは、ピッチ・ベンド・センシティブィティ(RPN#0)、マスター・コース・チューン(RPN#2)、マスター・ファイン・チューン(RPN#1)、RPNヌル(RPN#16383)です。

RPN	Data entry				解説
MSB	LSB	MSB	LSB		
00H	00H	mmH	...	...	ピッチ・ベンド・センシティブィティ mm:00H-18H(0~24音) 11:無視します。(00Hとして処理します) 半音ステップで2オクターブまで指定可能です。
00H	01H	mmH	ℓH	...	マスター・ファイン・チューニング mm:11.00 00H-40 00H7F7FH (8192×100/8192.0+8191×100/8192)cent
00H	02H	mmH	...	...	マスター・コース・チューニング mm:28H-40H-58H(-24.0+24半音) 11:無視します。(00Hとして処理します)
7FH	7FH	...	...	...	RPNヌル RPNおよびNRPNが指定されていない状態にします。既に設定済みの設定値は変化しません。 mm、11:無視します。

## ●データ転送

本器は、エクスクルーシブ・メッセージを使用して、機器内部のさまざまな設定や機器間のさまざまな設定や機器間のデータ転送を行うことができます。

### ○データ・セット1 DT1(12H)

実際のデータの転送を行なうメッセージで、機器に対してデータを設定したい場合に使用します。

バイト 解説

F0H :エクスクルーシブ・ステータス

55H :IDナンバー(スズキ)

10H :デバイスID

42H :モデルID

12H :コマンドID(DTI)

aaH :アドレスMSB(送信するデータの先頭アドレスの上位バイト)

bbH :アドレス(送信するデータの先頭アドレスの中位バイト)

ccH :アドレスLSB(送信するデータの先頭アドレスの下位バイト)

ddH :データ(送信するデータの本体。複数バイトのデータはアドレス順に送信します。)

: : :

eeH :データ

sum :チェックサム

F7H :EOX(エンド・オブ・エクスクルーシブ)

\*データの種類により一度に転送するデータの量は決まっており、決められた先頭アドレスとサイズのデータ以外は受信しません。

\*「データ・セット1」を続けて送る場合、パケット間は40ms以上の時間間隔をあけてください。

(aa+bb+cc+dd+ee)÷128=Quotient(商)

...remainder(余り)

128-remainder(余り)=check sum

## ■システム・エクスクルーシブについて

### ●システム・パラメータ

機器全体にかかわるパラメータを「システム・パラメータ」といいます。

Address	Size	Data Range	Parameter	Description	Default Value	Description
40 00 00	04	0018 - 0400 - 07E8	Master Tune	-100.0-0- +100.0 [cent] Use nibbliznd data	00 04 00 00	0[cent]
40 00 04	01	00-7F	Master Volume (=F0 7F 7F 04 01 00 vv F7)	0-127	7F	127
40 00 05	01	28-58	Master Key - Shift	-24-+24[semitone]		
40 00 06	01	01-7F	Master Pan (=F0 7F 7F 04 02 00 mm F7)	1(left)-127(right)	40	center
40 00 7F	01	00-7F	Full parameter Reset	0-127(Full parameter Reset)		

例) マスター・ボリュームを100にするときは、以下のメッセージを送信します。

F0 55 10 42 12 40 00 04 64 58 F7

### ●パッチ・パラメータ

本器は16個のパートを持っており、パートごとに色々な設定を行うことができます。それぞれのパートのパラメータをパッチ・パラメータといいます。エクスクルーシブ・メッセージでパッチ・パラメータ情報の通信をする場合、パート・ナンバー(通常はMIDIチャンネルと同じ番号を使います)ではなく、ブロック・ナンバーによりアドレスを指定します。



\*x...BLOCK NUMBER(0-F), Part1(defaultMIDI ch=1)x=1

Part2(default MIDI ch=2)x=2

: : :

Part9(default MIDI ch=9)x=9

Part10(default MIDI ch=10)x=0

Part11(default MIDI ch=11)x=A

Part12(default MIDI ch=12)x=B

: : :

Part16(default MIDI ch=16)x=F

### ○パッチコモン

Address	Size	Data Range	Parameter	Description	Default Value	Description
40 01 30	01	00-07	Reverb Macro	00: Room 1 01: Room 2 02: Room 3 03: Hall 1 04: Hall 2 05: Plate 06: Delay 07: Panning Delay	04	Hall 2
40 01 31	01	00-07	Reverb Character	0-7	04	4
40 01 32	01	00-07	Reverb Pre-LPF	0-7	03	3
40 01 33	01	00-7F	Reverb Level	0-127	40	64
40 01 34	01	00-7F	Reverb Time	0-127	2A	42
40 01 35	01	00-7F	Reverb Delay Feedback	0-127	00	0
40 01 37	01	00-7F	Reverb Pre-delay Time	0-127	00	0

Reverb Macro とは、プリセットされたリバース・タイプを設定するパラメータで、これを変更することにより Character、Time、Pre-LPFの値が各タイプのプリセット値に変化します。

Address	Size	Data Range	Parameter	Description	Default Value	Description
40 01 38	01	00-09	Chorus Macro	00: Chorus 1 01: Chorus 2 02: Chorus 3 03: Chorus 4 04: Feedback Chorus 05: Flanger 06: Short Delay 07: Short Delay FB 08: Leslie Slow 09: Leslie Fast	02	Chorus 3
40 01 39	01	00-07	Chorus Pre-LPF	0-7	00	0
40 01 3A	01	00-7F	Chorus Level	0-127	40	64
40 01 3B	01	00-7F	Chorus Feedback	0-127	08	8
40 01 3C	01	00-7F	Chorus Delay	0-127	50	80
40 01 3D	01	00-7F	Chorus Rate	0-127	03	3
40 01 3E	01	00-7F	Chorus Depth	0-127	13	19
40 01 3F	01	00-7F	Chorus Send Level To Reverb	0-127	00	0
40 01 40	01	00-7F	Chorus Send Level To Delay	0-127	00	0

Chorus Macro とは、プリセットされたコーラス・タイプを設定するパラメータで、これを変更することにより Rateの値が各タイプのプリセット値に変化します。

Address	Size	Data Range	Parameter	Description	Default Value	Description
40 01 50	01	00-09	Delay Macro	00: Delay 1 01: Delay 2 02: Delay 3 03: Delay 4 04: Pan Delay 1 05: Pan Delay 2 06: Pan Delay 3 07: Pan Delay 4 09: Pan Repeat	00	Delay 1
40 01 51	01	00-07	Delay Pre-LPF	0-7	00	0
40 01 52	01	01-73	Delay Time Center	0.1ms-1sec	61	340
40 01 53	01	01-78	Delay Time Ratio Left	4-500%	01	4
40 01 54	01	01-78	Delay Time Ratio Right	4-500%	01	4
40 01 55	01	00-7F	Delay Level Center	0-127	7F	127
40 01 56	01	00-7F	Delay Level Left	0-127	00	0
40 01 57	01	00-7F	Delay Level Right	0-127	00	0
40 01 58	01	00-7F	Delay Level	0-127	40	64
40 01 59	01	00-7F	Delay Feedback	-64~+63	50	+16

Delay Macro とは、プリセットされたディレイ・タイプを設定するパラメータで、これを変更することにより値が各タイプのプリセット値に変化します。

### ○パッチ・ブロック

Address	Size	Data Range	Parameter	Description	Default Value	Description
40 1x 15	00 00 01	00-02	Use For Rhythm Part	0=OFF 1=MAP1 2=MAP2	00 at ≠0 01 at =0	OFF MAP1

\*ドラム・パートとして使用するパートの、ドラム・マップを設定するパラメータです。本器では最大2つのドラム・マップ(MAP、MAP2)を同時に(異なったパートで)使用することができます。

\*初期設定値では、Part10(MIDI CH=10,x=0)がMAP1(1)に、その他のパートは通常の楽器音のパート(OFF(0)、ノーマル・パート)になっています。

Address	Size	Data Range	Parameter	Description	Default Value	Description
40 1x 0A	00 00 01	00-01	Rx-NRPN	OFF/ON	01	ON
40 1x 16	00 00 01	28-58	Pitch Key Shift	-24~+24[semitone]	40	0[semitone]
40 1x 17	00 00 02	08-F8	Pitch Off Set fine	-12.0~+12.0[Hz]	08 00	0[Hz]
40 1x 23	00 00 01	00-01	Rx. Bank Select	OFF/ON	01	ON
40 1x 30	00 00 01	00-7F	Vibrato Rate	-64~0~+63 (=Bn 63 01 62 08 06 vv)	40	0
40 1x 31	00 00 01	00-7F	Vibrato Depth	-64~0~+63 (=Bn 63 01 62 08 06 vv)	40	0
40 1x 32	00 00 01	00-7F	Cut Off Freq	-64~0~+63 (=Bn 63 01 62 20 06 vv)	40	0
40 1x 33	00 00 01	00-7F	Resonance	-64~0~+63 (=Bn 63 01 62 21 06 vv)	40	0
40 1x 34	00 00 01	00-7F	Env. Attack	-64~0~+63 (=Bn 63 01 62 63 06 vv)	40	0
40 1x 35	00 00 01	00-7F	Env. Decay	-64~0~+63 (=Bn 63 01 62 64 06 vv)	40	0
40 1x 36	00 00 01	00-7F	Env. Release	-64~0~+63 (=Bn 63 01 62 66 06 vv)	40	0
40 1x 37	00 00 01	00-7F	Vibrato Delay	-64~0~+63 (=Bn 63 01 62 0A 06 vv)	40	0



